

図 1-33(1) ボーリング柱状図 (28QB-5)
 (盛土：深度 0～11.45m, 旧表土：深度 11.45～12.00m)



図 1-33(2) ボーリングコア写真 (28QB-5)
(盛土 : 深度 0~11.45m, 旧表土 : 深度 11.45~12.00m)

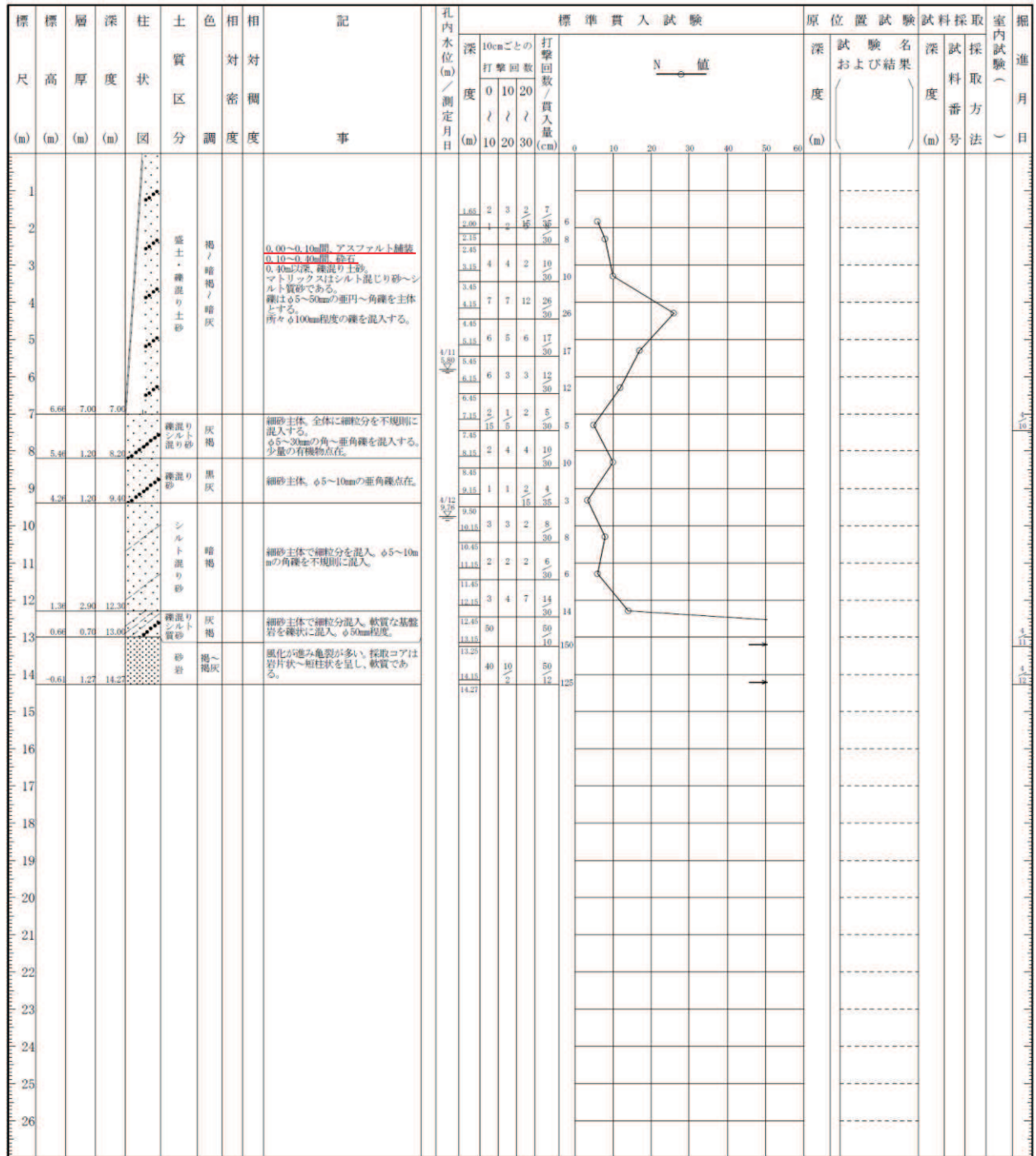


図 1-34(1) ボーリング柱状図 (28QB-5-1)
 (盛土：深度 0~7.00m, 旧表土：深度 7.00~13.00m)

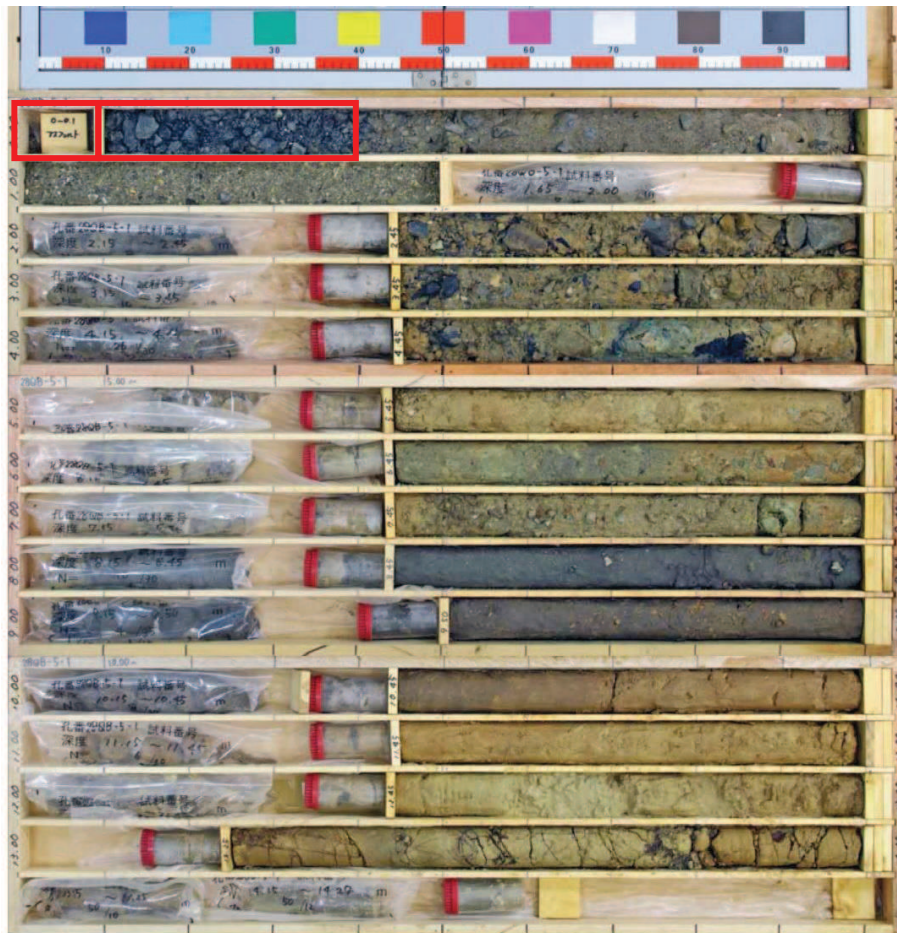


図 1-34(2) ボーリングコア写真 (28QB-5-1)
 (盛土 : 深度 0~7.00m, 旧表土 : 深度 7.00~13.00m)

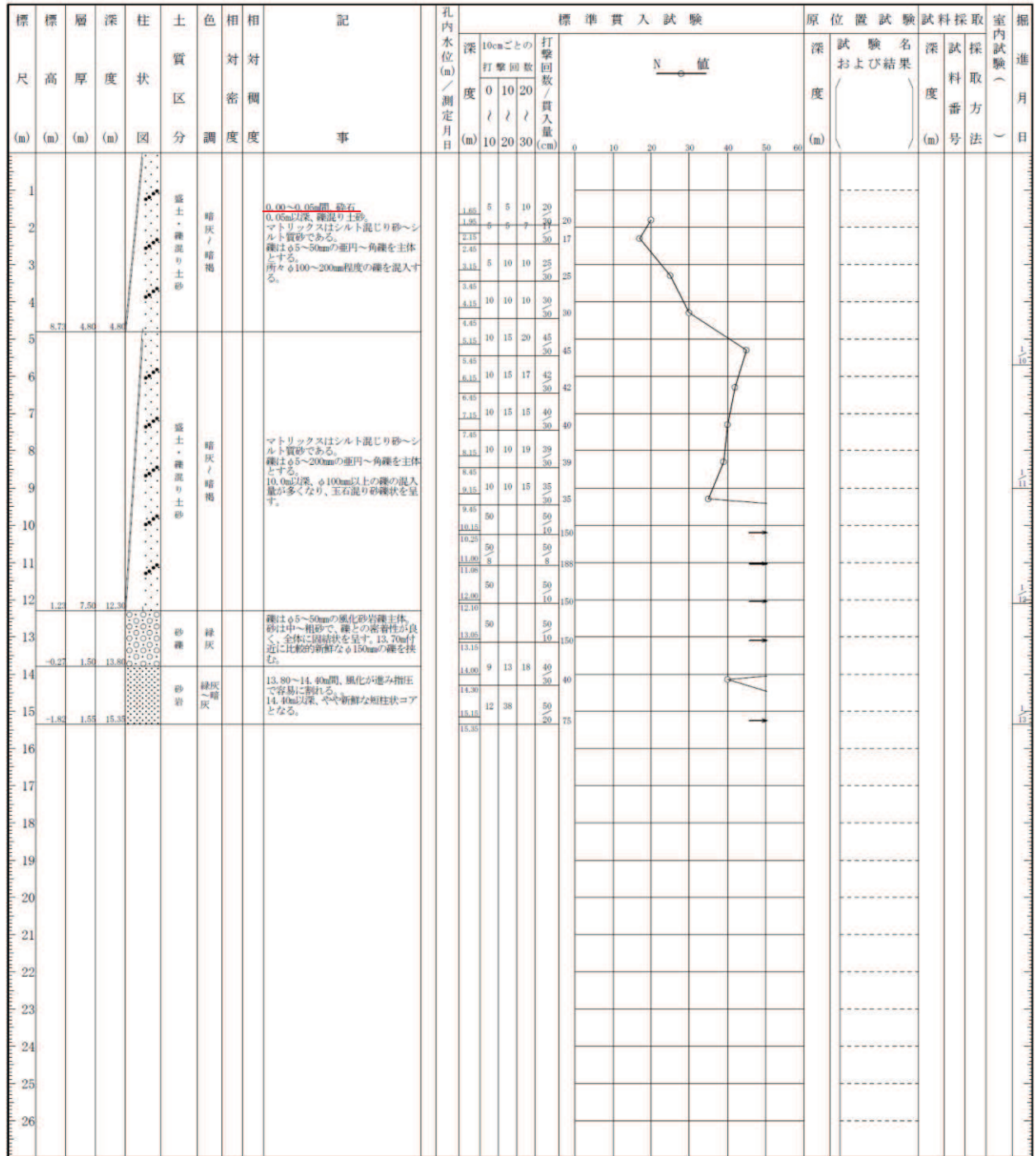


図 1-35(1) ボーリング柱状図 (28QB-6)
(盛土：深度 0~12.30m, 旧表土：深度 12.30~13.80m)

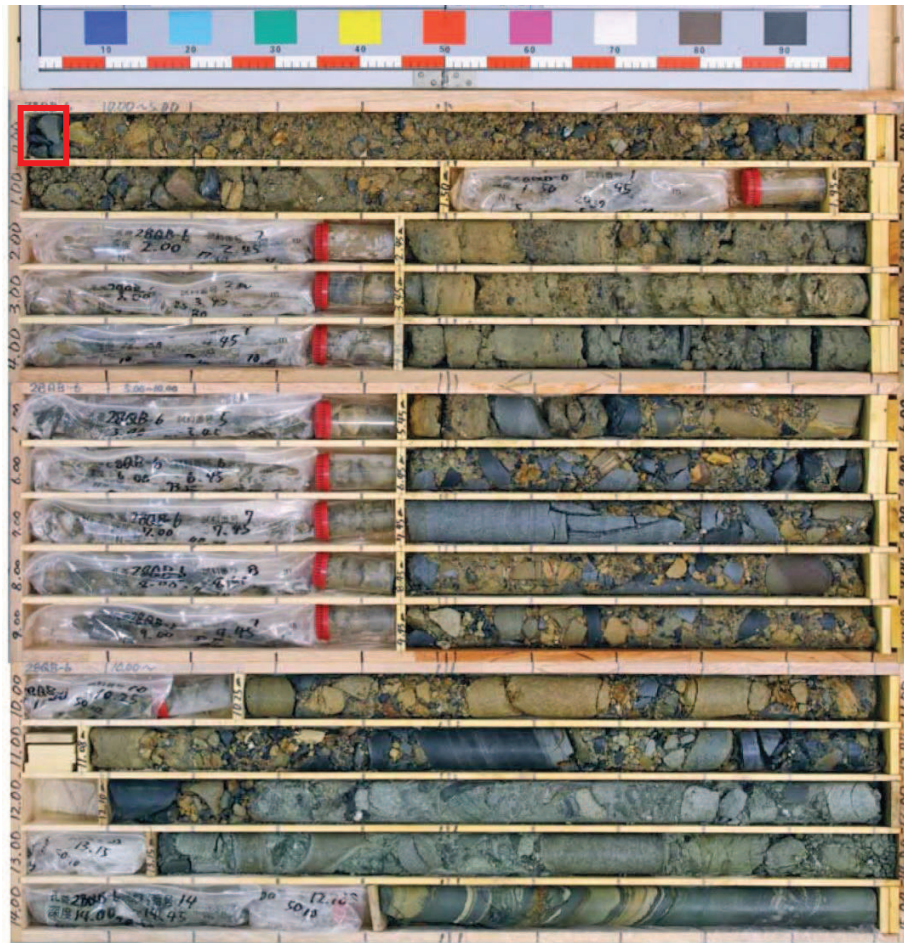


図 1-35 (2) ボーリングコア写真 (28QB-6)
(盛土 : 深度 0~12.30m, 旧表土 : 深度 12.30~13.80m)

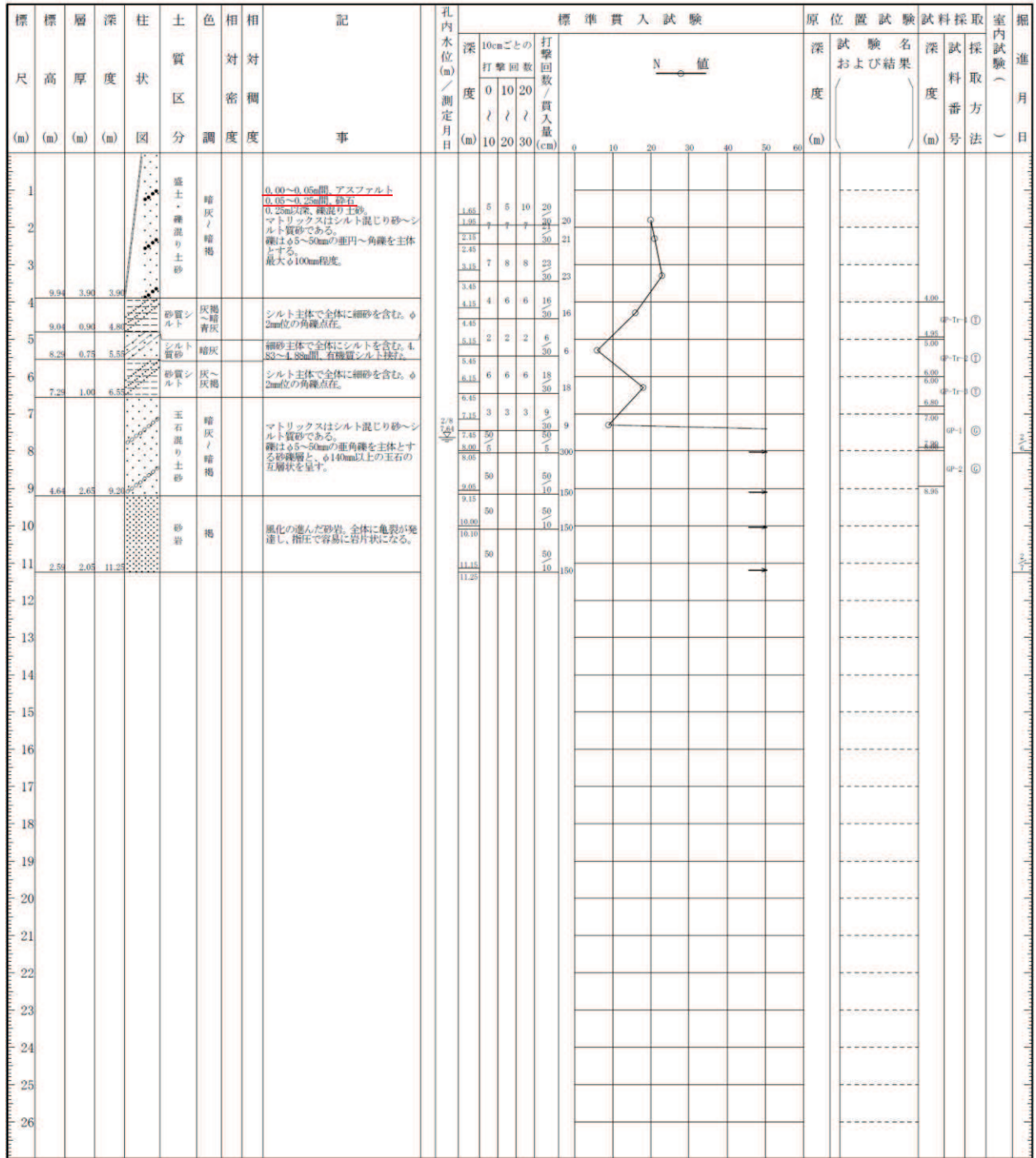


図 1-36(1) ボーリング柱状図 (28QB-7)
(盛土：深度 0~3.90m, 旧表土：深度 3.90~9.20m)

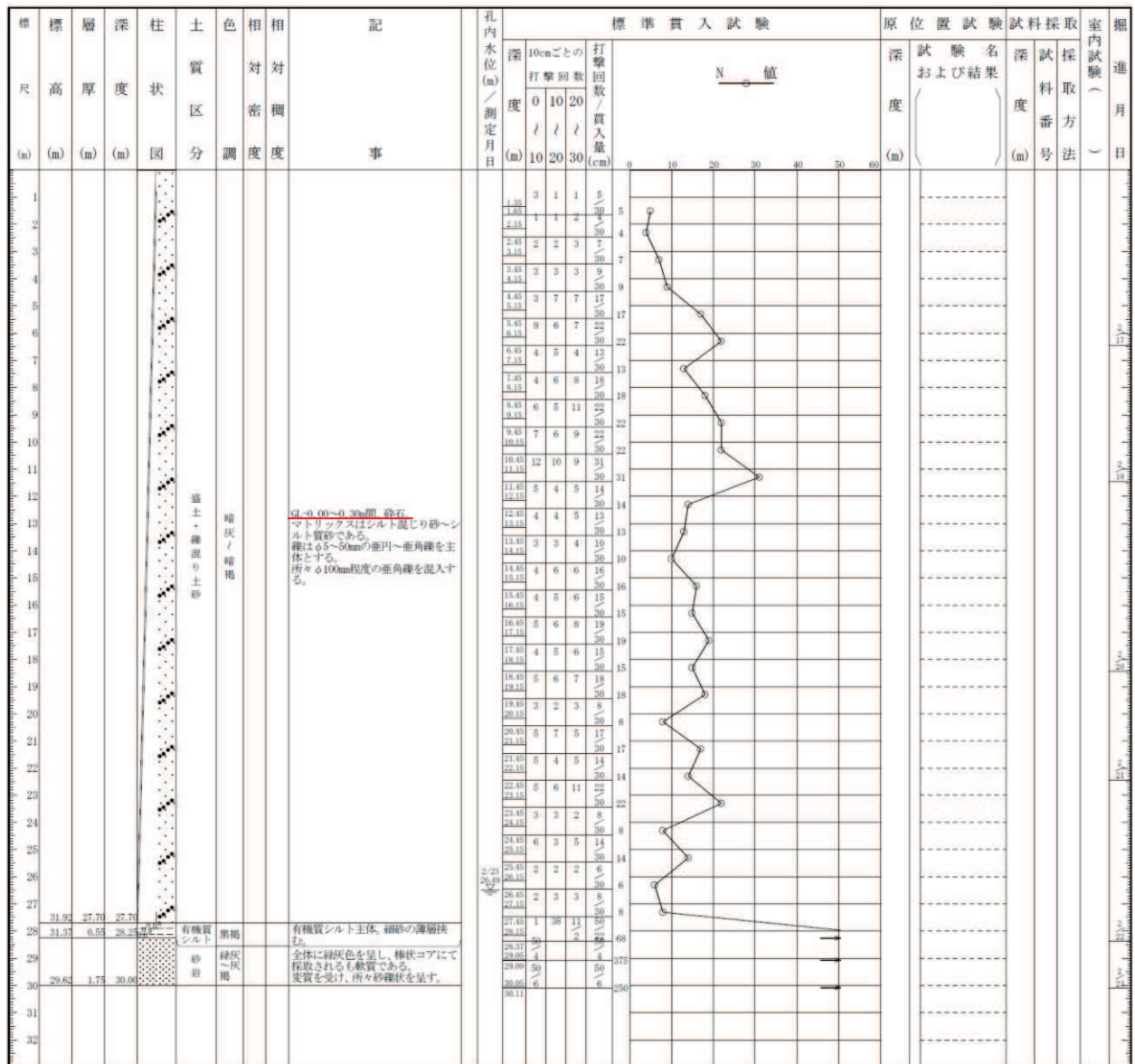


図 1-37(1) ボーリング柱状図 (28QB-8)
(盛土：深度 0~27.70m, 旧表土：深度 27.70~28.25m)

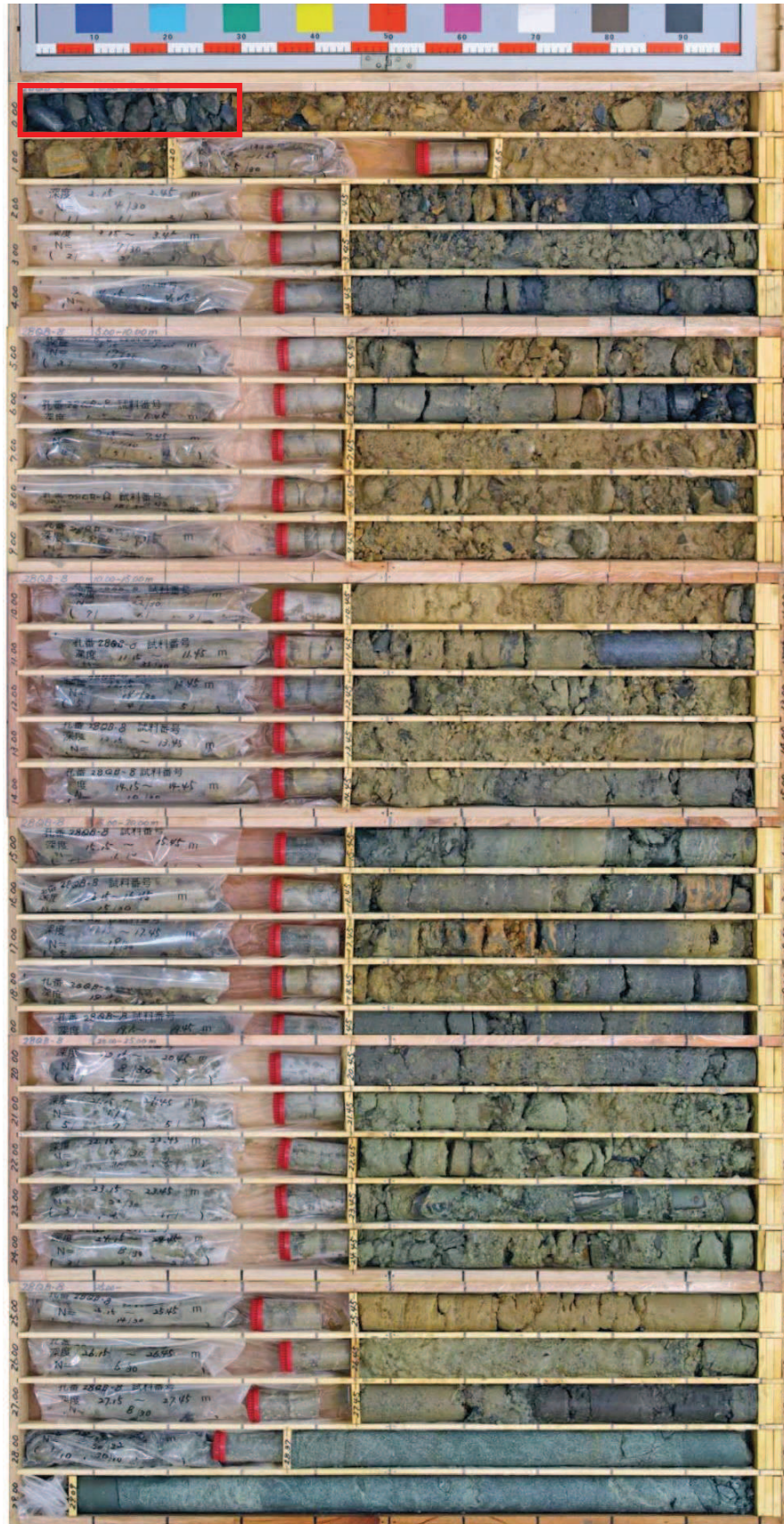


図 1-37(2) ボーリングコア写真 (28QB-8)
 (盛土：深度 0～27.70m, 旧表土：深度 27.70～28.25m)

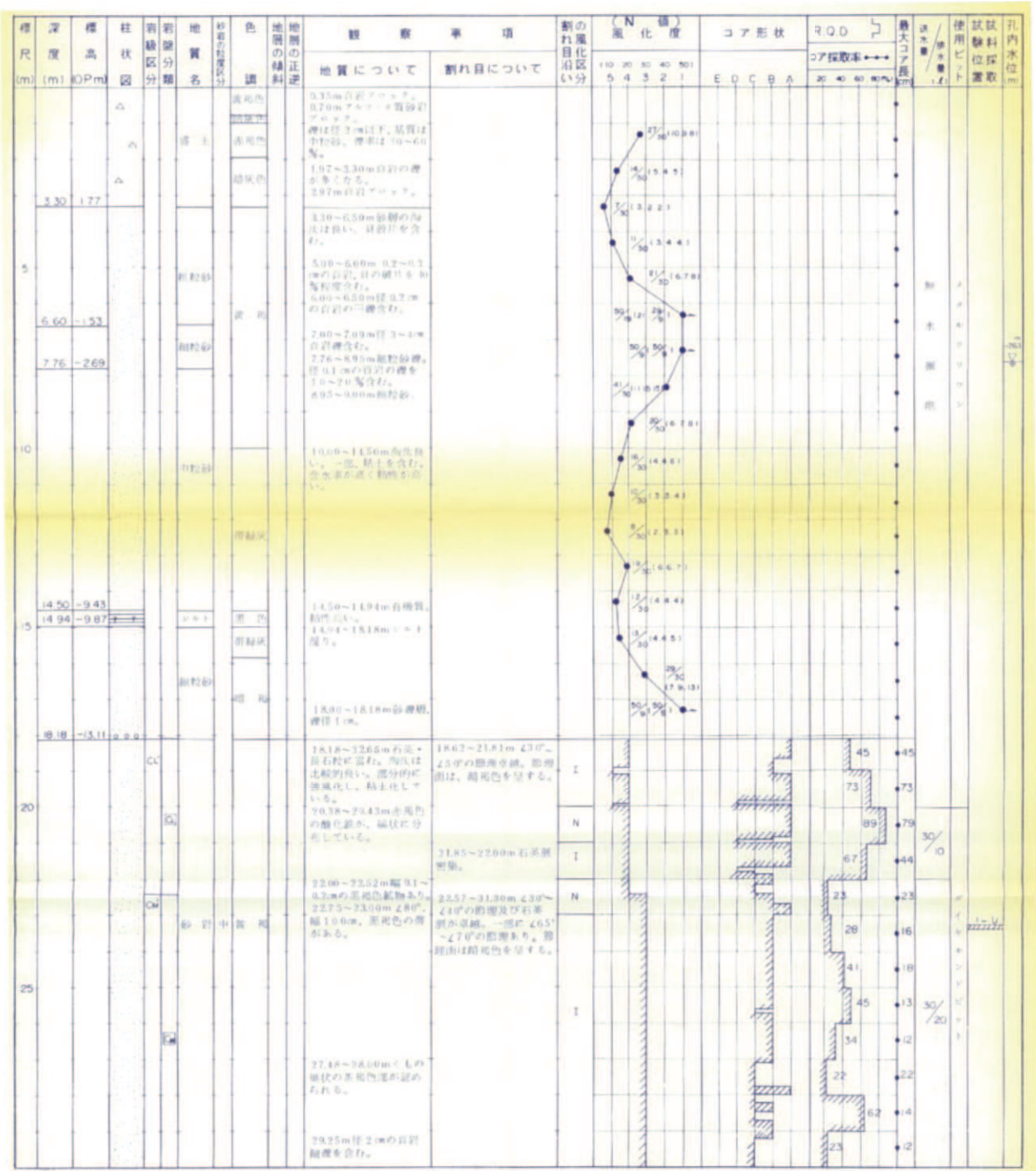


図 1-38(1) ボーリング柱状図 (P-3)
 (盛土: 深度 0~3.30m, 旧表土: 深度 3.30~18.18m)



図 1-38(2) ボーリングコア写真 (P-3)
 (盛土：深度 0～3.30m, 旧表土：深度 3.30～18.18m)

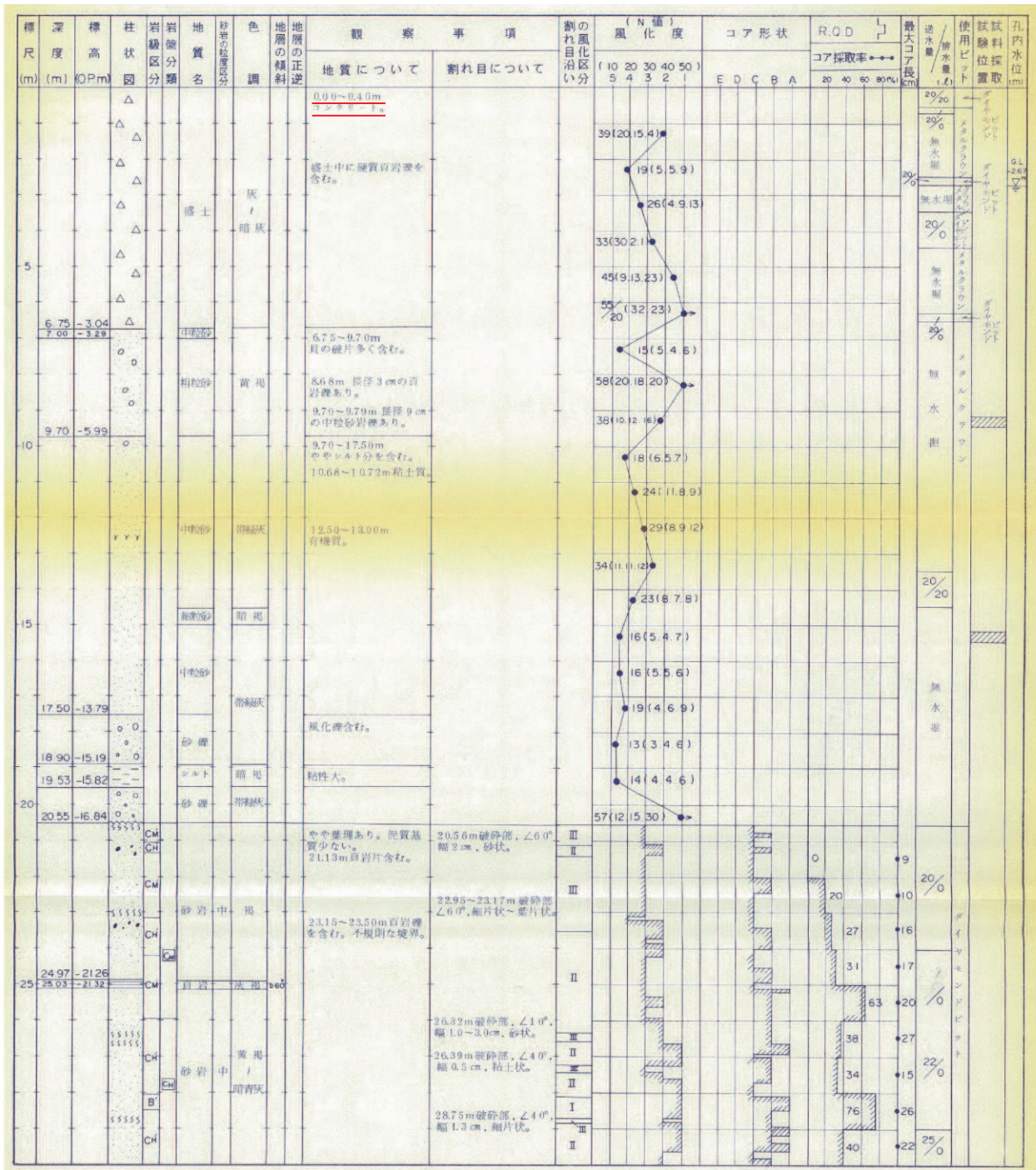


図 1-39(1) ボーリング柱状図 (P-6)
(盛土 : 深度 0~6.75m, 旧表土 : 深度 6.75~20.55m)



図 1-39(2) ボーリングコア写真 (P-6)
 (盛土：深度 0～6.75m, 旧表土：深度 6.75～20.55m)

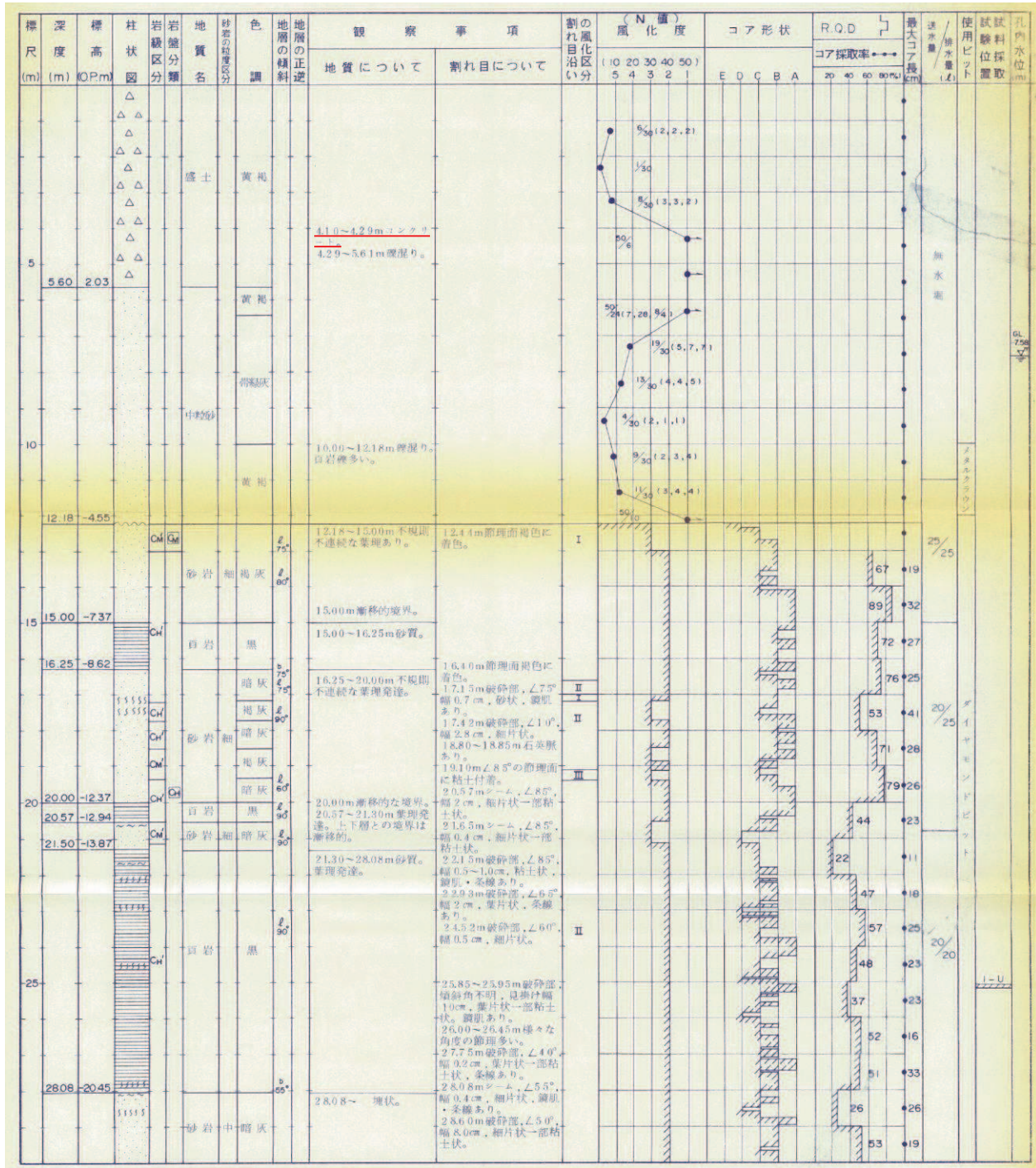


図 1-40(1) ボーリング柱状図 (SP-2)
(盛土 : 深度 0~5.60m, 旧表土 : 深度 5.60~12.18m)



図 1-40(2) ボーリングコア写真 (SP-2)
(盛土：深度 0～5.60m, 旧表土：深度 5.60～12.18m)

標尺 (m)	層高 (m)	層厚 (m)	深 度 (m)	柱 状 図	土 質 区 分	色 調	相 対 密 度	相 対 稠 度	記 事	標準貫入試験				N 値	原位置試験		試験採取方法	室内試験	掘進月日	
										深 度 (m)	10cm ごと の 打撃回数	打撃回数 の 貫入量 (cm)	深 度 (m)		試験名 および結果					
1	2.18	1.50	1.50		炭茶				地盤以下0.55m区間粘土多量に炭茶は10~20mm粘土は全体に不均質に砂質分を混入する	1.15	3	4	4	11						
2	1.96	0.20	1.80		黒茶				層中に径50mm前後の礫を介在するもシルト部は軟弱である礫が径10mm前後である	1.45	2	4	3	9						
3					淡茶				粘土の粘性は低く砂質分混入は不均質混入する礫の最大径は100mm礫層、礫型は雑多で比較的硬質である	2.15	2	4	3	9						
4					淡茶 / 青灰				砂は粗粒砂が主体全体に貝殻片、石英粒多量に混入する所々シルト卓越部が見られ固結状態をいしている。	2.45	3	5	3	11						
5	-1.32	3.30	5.10		淡茶 / 青灰				砂は粗粒砂が主体でシルトの含有は不均質7.80~8.0m区間100mm前後の礫混入大径の貝殻片の混入もみられる8.85m以深やシルト分卓越する	3.15	3	5	3	11						
6					淡茶 / 青灰				砂は粗粒砂が主体でシルトの含有は不均質7.80~8.0m区間100mm前後の礫混入大径の貝殻片の混入もみられる8.85m以深やシルト分卓越する	3.45	4	9	6	19						
7	-1.32	2.00	7.10		淡茶 / 青灰				砂は粗粒砂が主体でシルトの含有は不均質7.80~8.0m区間100mm前後の礫混入大径の貝殻片の混入もみられる8.85m以深やシルト分卓越する	4.15	4	9	6	19						
8					淡茶 / 青灰				砂は粗粒砂が主体でシルトの含有は不均質7.80~8.0m区間100mm前後の礫混入大径の貝殻片の混入もみられる8.85m以深やシルト分卓越する	4.45	5	8	10	23						
9	-5.82	2.50	9.60		淡茶 / 青灰				砂は粗粒砂が主体でシルトの含有は不均質7.80~8.0m区間100mm前後の礫混入大径の貝殻片の混入もみられる8.85m以深やシルト分卓越する	5.15	5	8	10	23						
10					砂				粒径比較的均質な細粒砂層である層上部若干のシルト以下の細粒分混入する高含水を呈すも孔壁比較的安定している	5.45	9	11	12	32						
11					砂				粒径比較的均質な細粒砂層である層上部若干のシルト以下の細粒分混入する高含水を呈すも孔壁比較的安定している	6.15	9	11	12	32						
12					砂				微粒な貝殻片、石英粒の混入が全体に見られる	6.45	9	11	12	32						
13	-9.22	3.40	13.00		砂				微粒な貝殻片、石英粒の混入が全体に見られる	7.15	9	11	12	32						
14	-9.87	0.65	13.65		砂				微粒な貝殻片、石英粒の混入が全体に見られる	7.22	7			7						
15					砂				13.65~22.10m塊状、長石粒子含む粒径の淘汰悪い角粒	8.15	13	37		50						
16					砂				13.65~16.00m割れ目は不連続	8.35	12	6	10	28						
17					砂				16.00~17.00m割れ目は不連続	9.15	12	6	10	28						
18					砂				17.00~18.70m割れ目は不連続	9.45	10	14	13	37						
19					砂				18.70~19.10m割れ目密集部	10.15	10	14	13	37						
20					砂				19.10~22.00m割れ目密集部	10.45	10	12	12	34						
21					砂				20.00~22.00m割れ目密集部	11.15	10	12	12	34						
22	-18.32	8.45	22.10		砂				22.00~22.10m割れ目密集部	11.45	13	12	13	38						
23					砂				22.10~22.10m割れ目密集部	12.15	13	12	13	38						

図 1-41(1) ボーリング柱状図 (Fs-1) (旧表土 : 深度 0~13.65m)



図 1-41(2) ボーリングコア写真 (Fs-1) (旧表土 : 深度 0~13.65m)

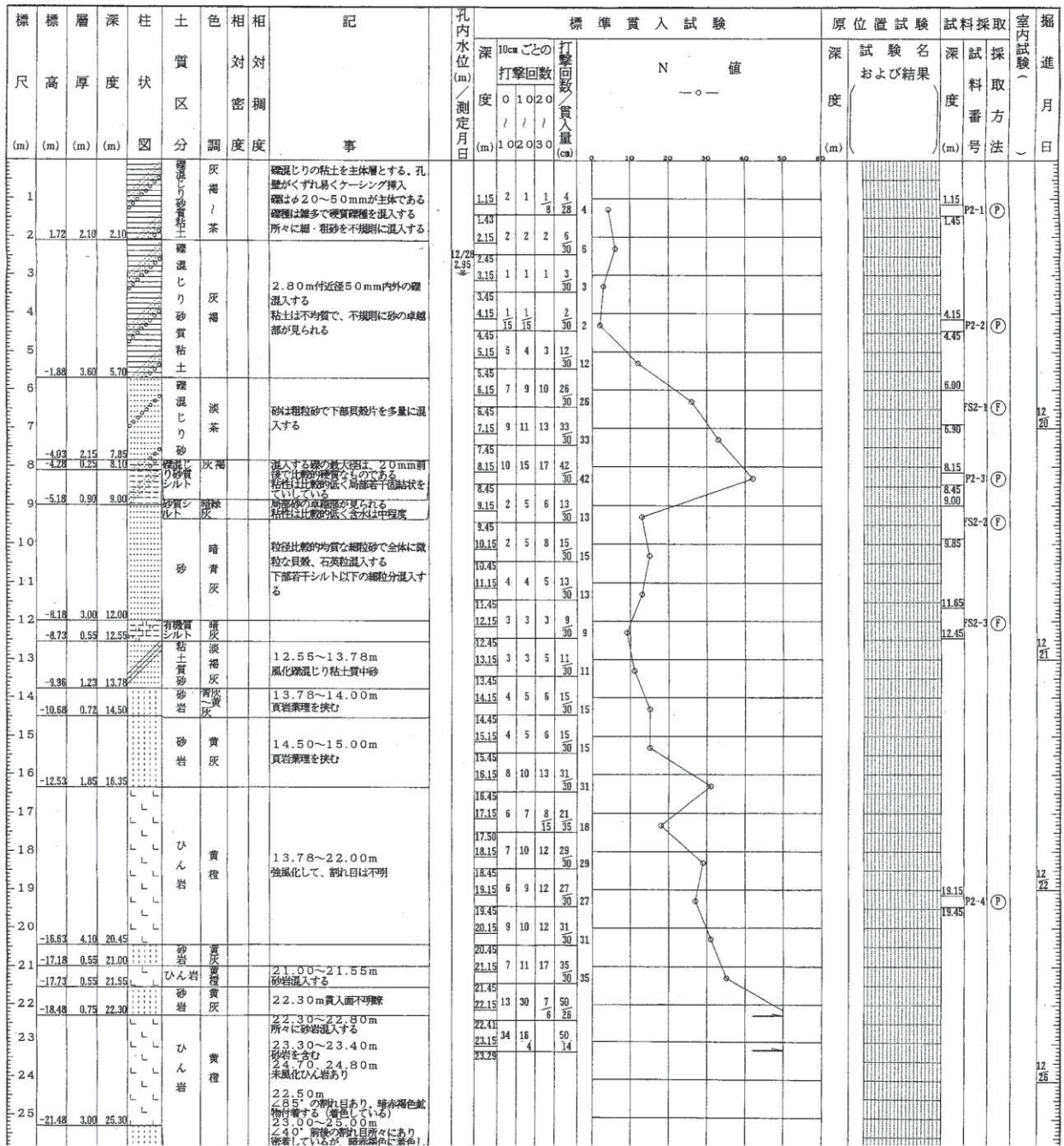


図 1-42(1) ボーリング柱状図 (Fs-2) (旧表土：深度 0~13.78m)



図 1-42(2) ボーリングコア写真 (Fs-2) (旧表土：深度 0～13.78m)

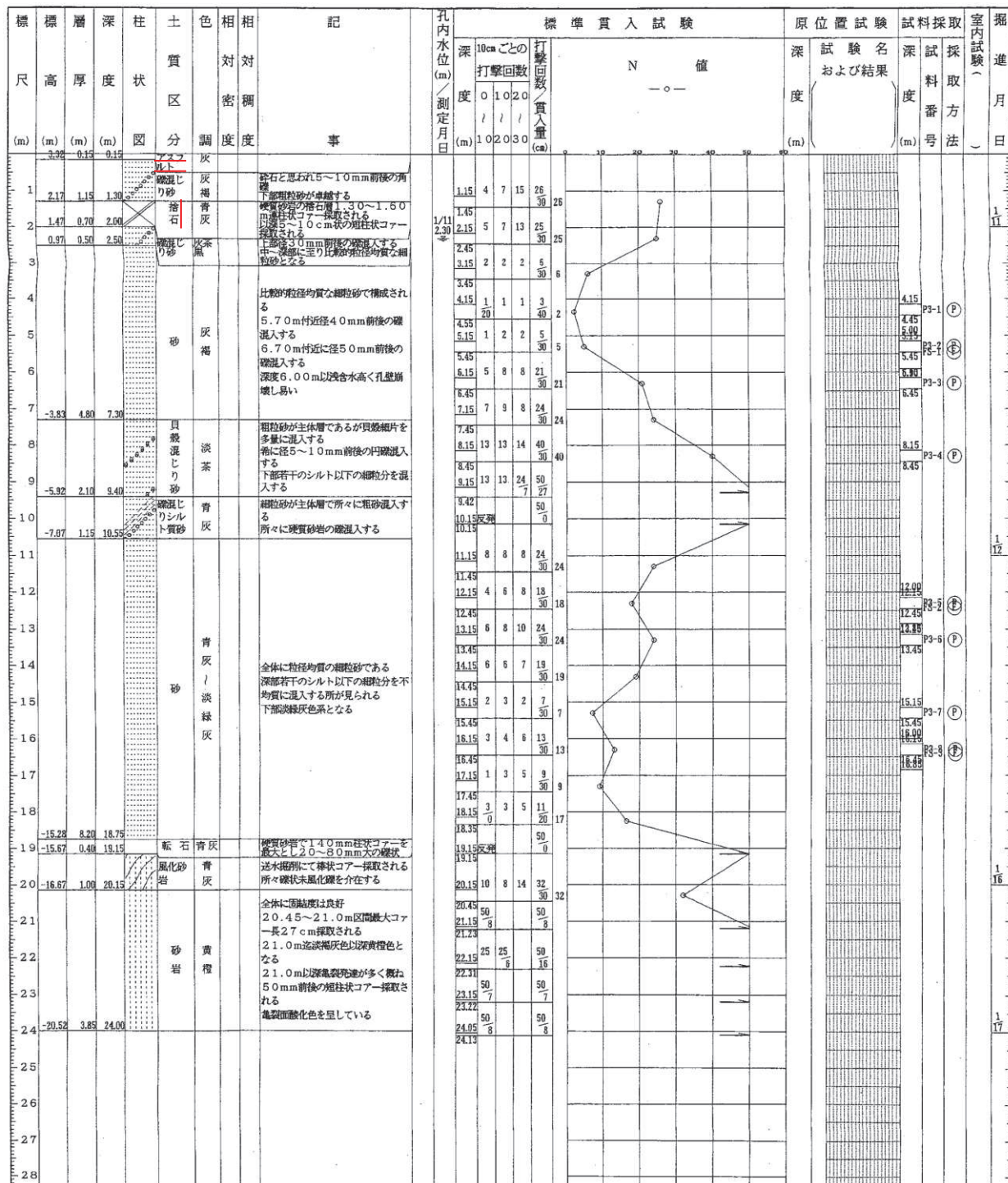


図 1-43(1) ボーリング柱状図 (Fs-3) (旧表土: 深度 0~19.15m)

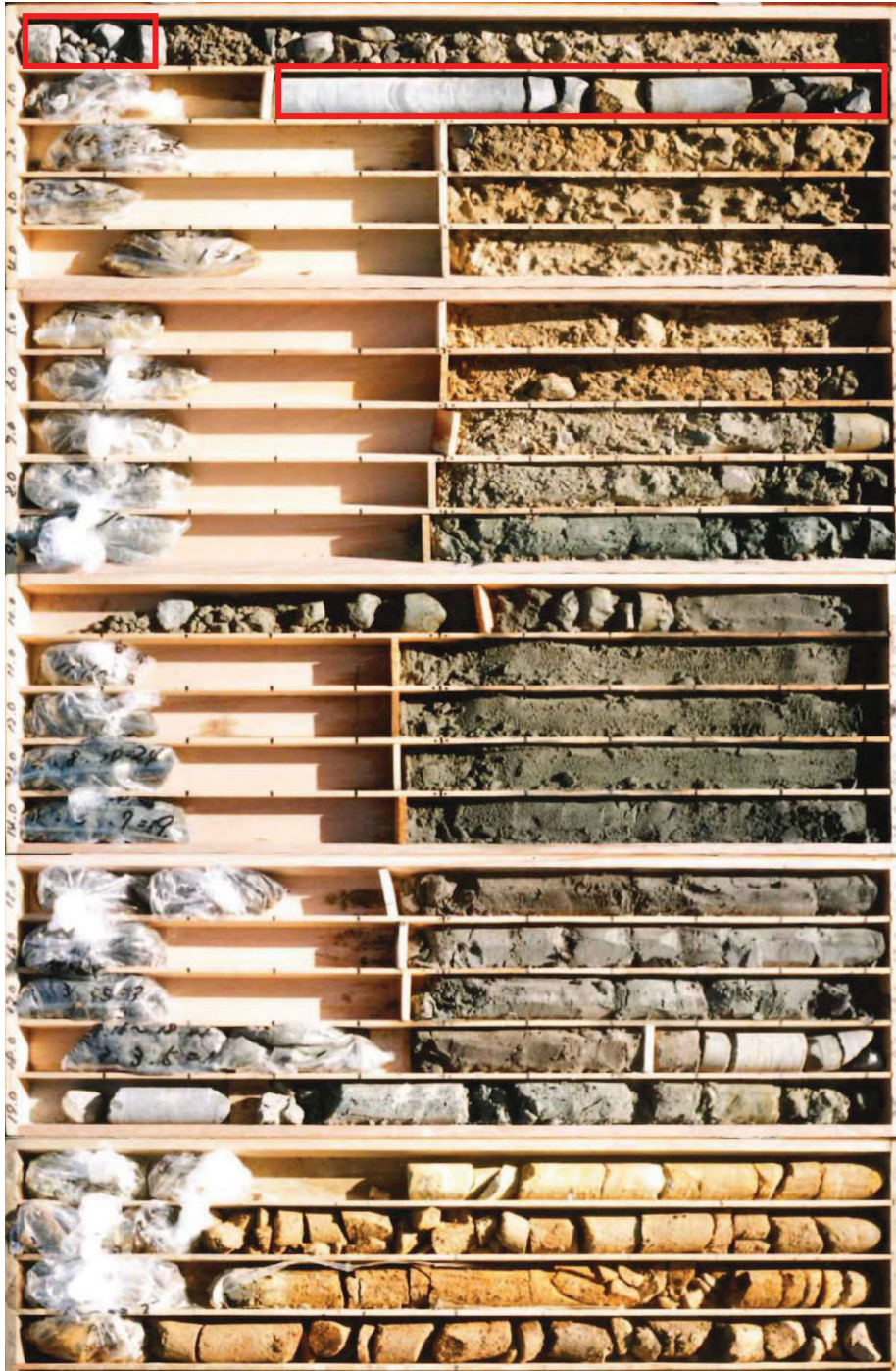


図 1-43(2) ボーリングコア写真 (Fs-3) (旧表土 : 深度 0~19.15m)



図 1-44(2) ボーリングコア写真 (D-1)
(盛土：深度 0～13.00m, 旧表土：深度 13.00～21.40m)

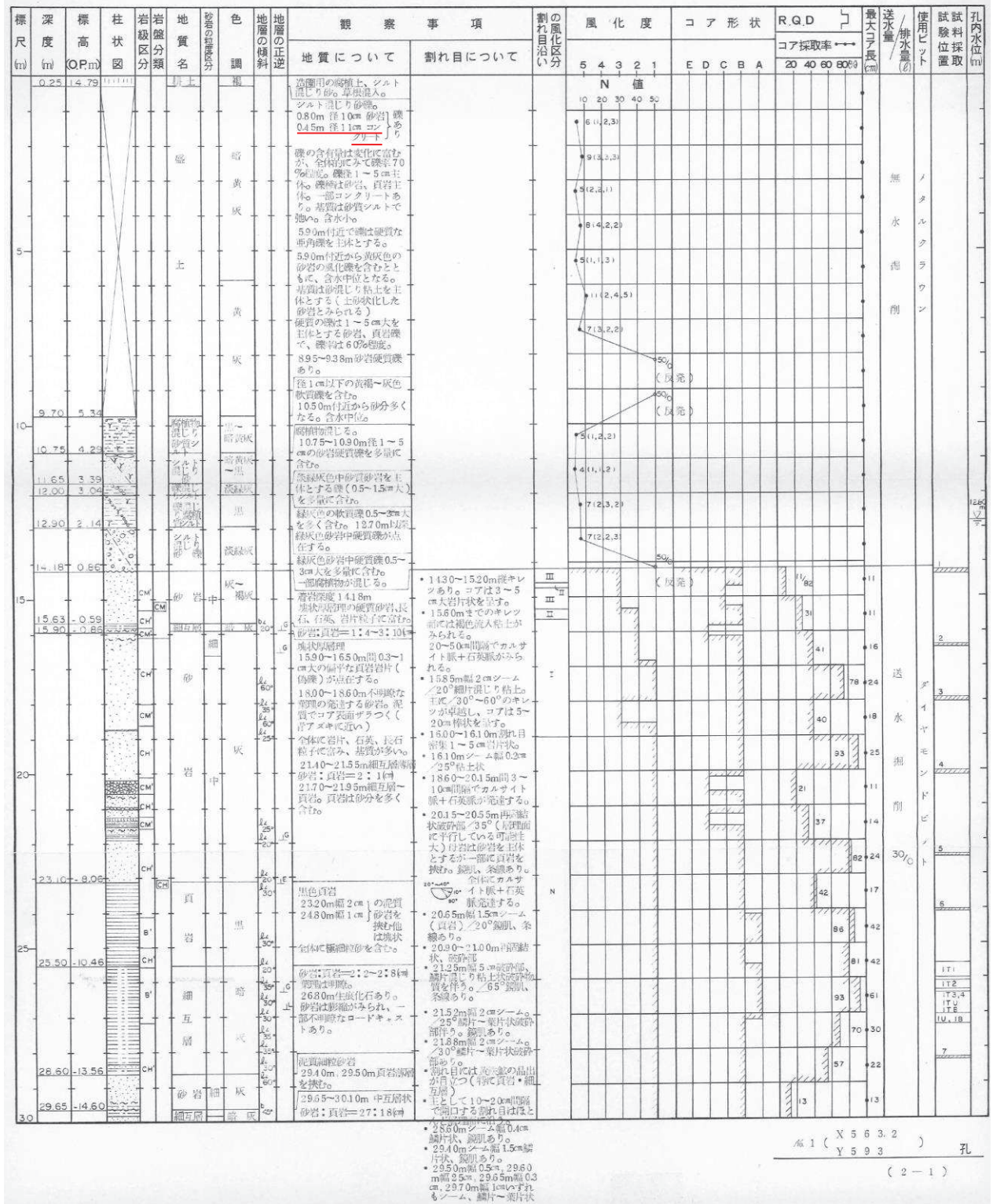


図 1-45(1) ボーリング柱状図 (No. 1)
(盛土: 深度 0~9.70m, 旧表土: 深度 9.70~14.18m)



図 1-45(2) ボーリングコア写真 (No. 1)
(盛土 : 深度 0~9.70m, 旧表土 : 深度 9.70~14.18m)



図 1-46(1) ボーリング柱状図 (No. 2)
(盛土：深度 0~9.90m, 旧表土：深度 9.90~11.95m)



図 1-46(2) ボーリングコア写真 (No. 2)
(盛土：深度 0～9.90m, 旧表土：深度 9.90～11.95m)



図 1-47(2) ボーリングコア写真 (23B-1)
 (盛土：深度 0～6.70m, 旧表土：深度 6.70～12.00m)

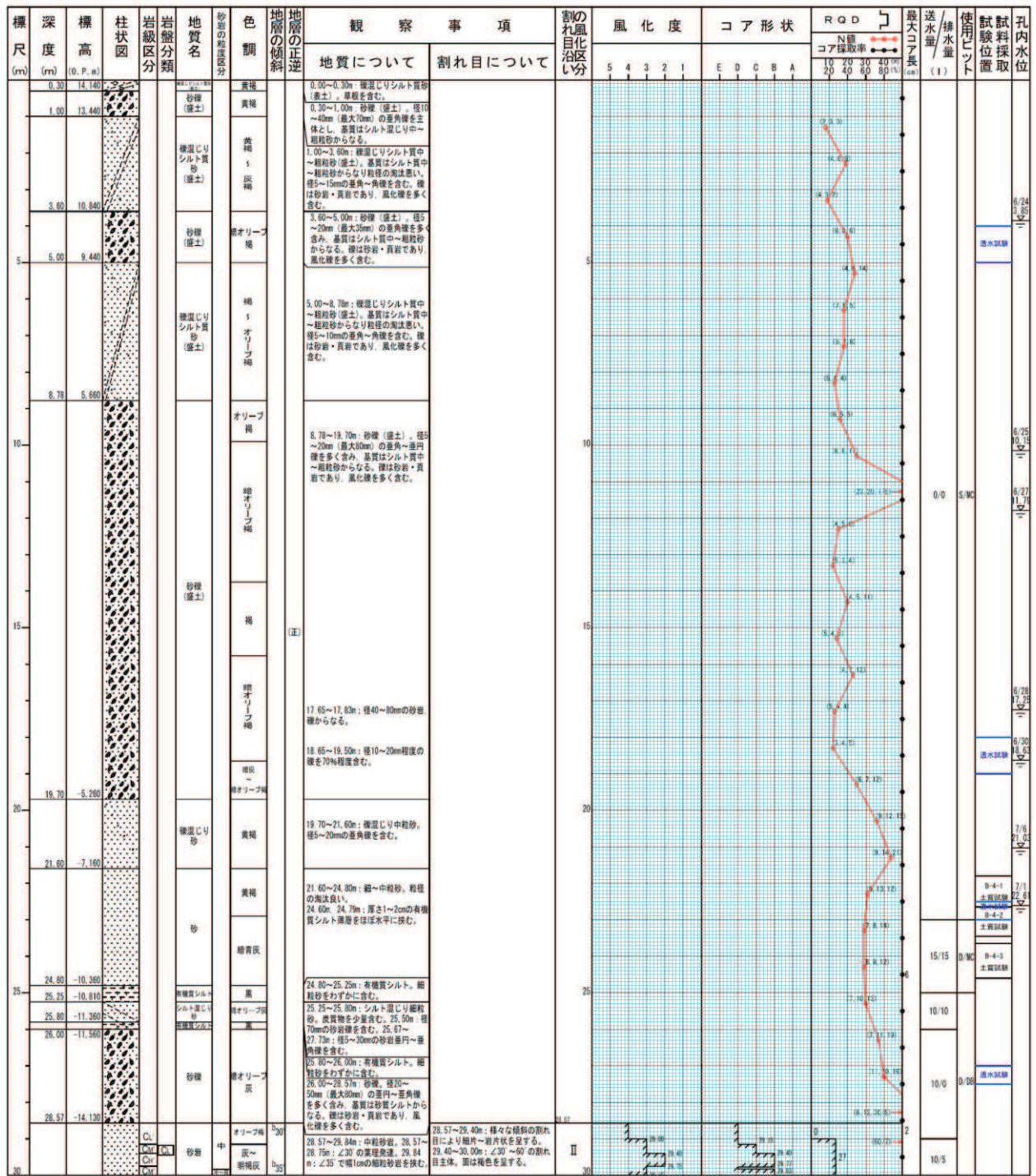


図 1-48(1) ボーリング柱状図 (23B-4)
(盛土: 深度 0~19.70m, 旧表土: 深度 19.70~28.57m)

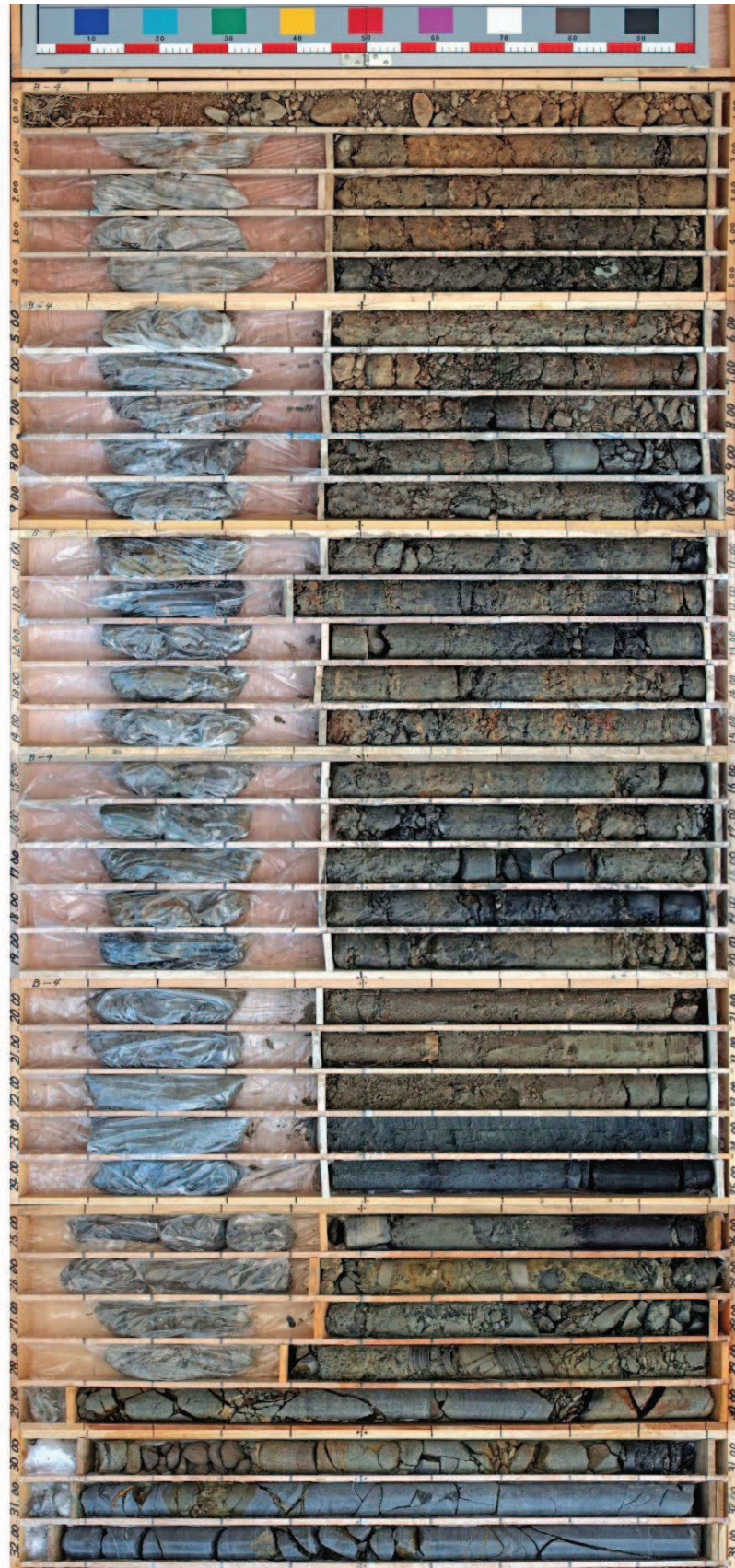


図 1-48(2) ボーリングコア写真 (23B-4)
 (盛土：深度 0～19.70m, 旧表土：深度 19.70～28.57m)

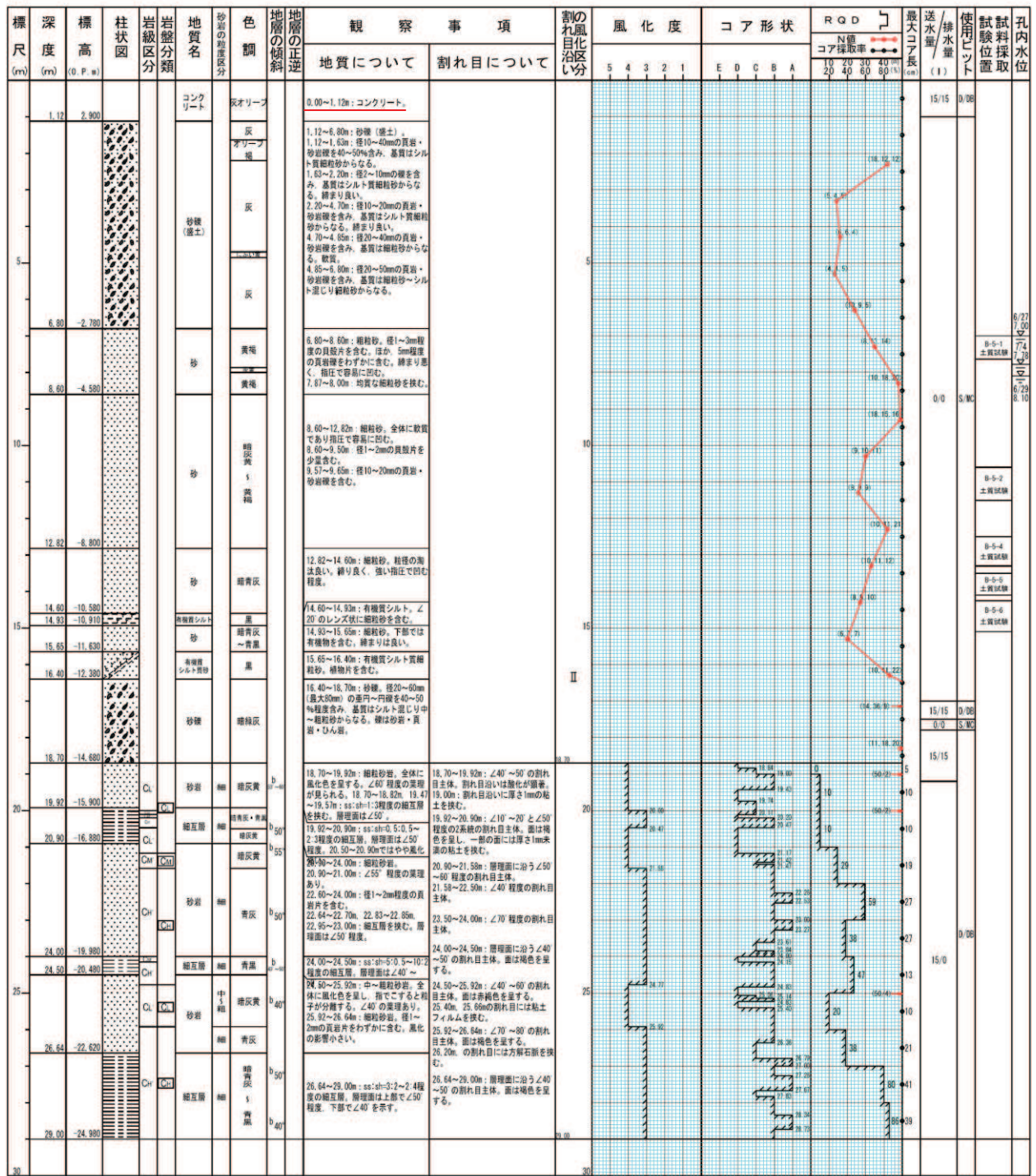


図 1-49(1) ボーリング柱状図 (23B-5)
(盛土: 深度 0~6.80m, 旧表土: 深度 6.80~18.70m)

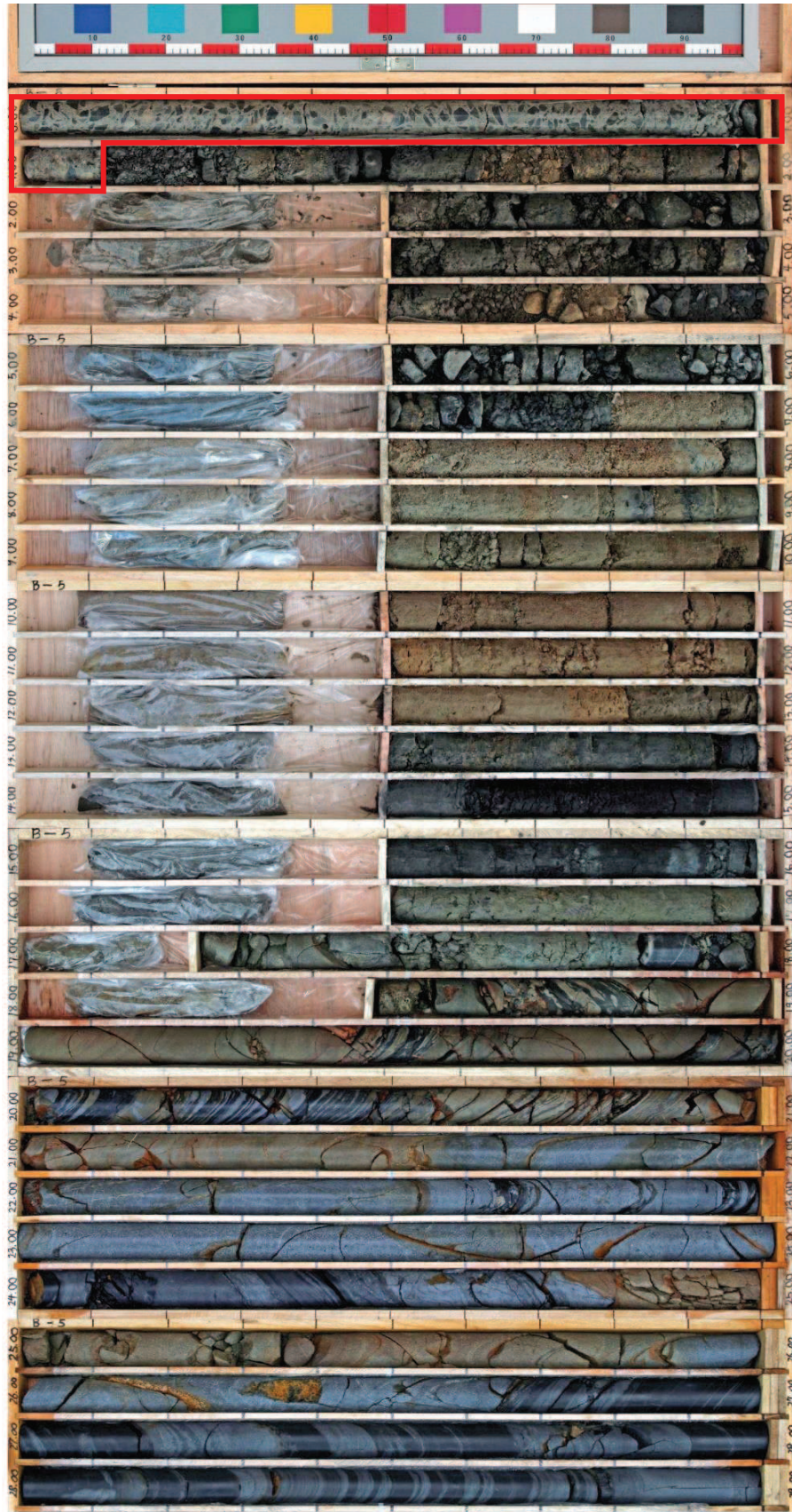
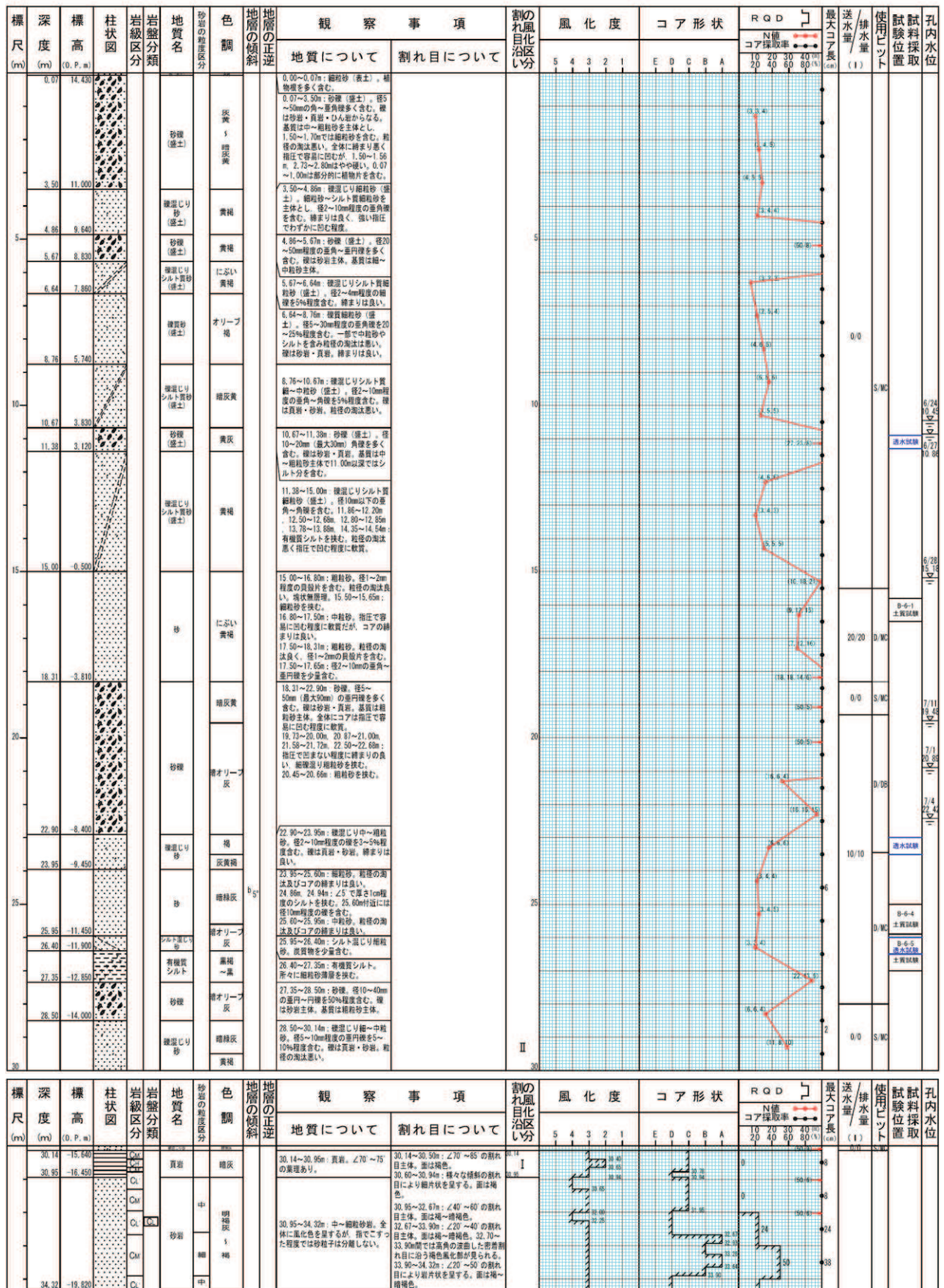


図 1-49(2) ボーリングコア写真 (23B-5)
(盛土：深度 0～6.80m, 旧表土：深度 6.80～18.70m)



(深度 33m 以深には岩盤が連続しており、ここではこの区間の柱状図とコア写真を割愛)

図 1-50(1) ボーリング柱状図 (23B-6)

(盛土: 深度 0~15.00m, 旧表土: 深度 15.00~30.14m)



図 1-50(2) ボーリングコア写真 (23B-6)
 (盛土：深度 0～15.00m, 旧表土：深度 15.00～30.14m)

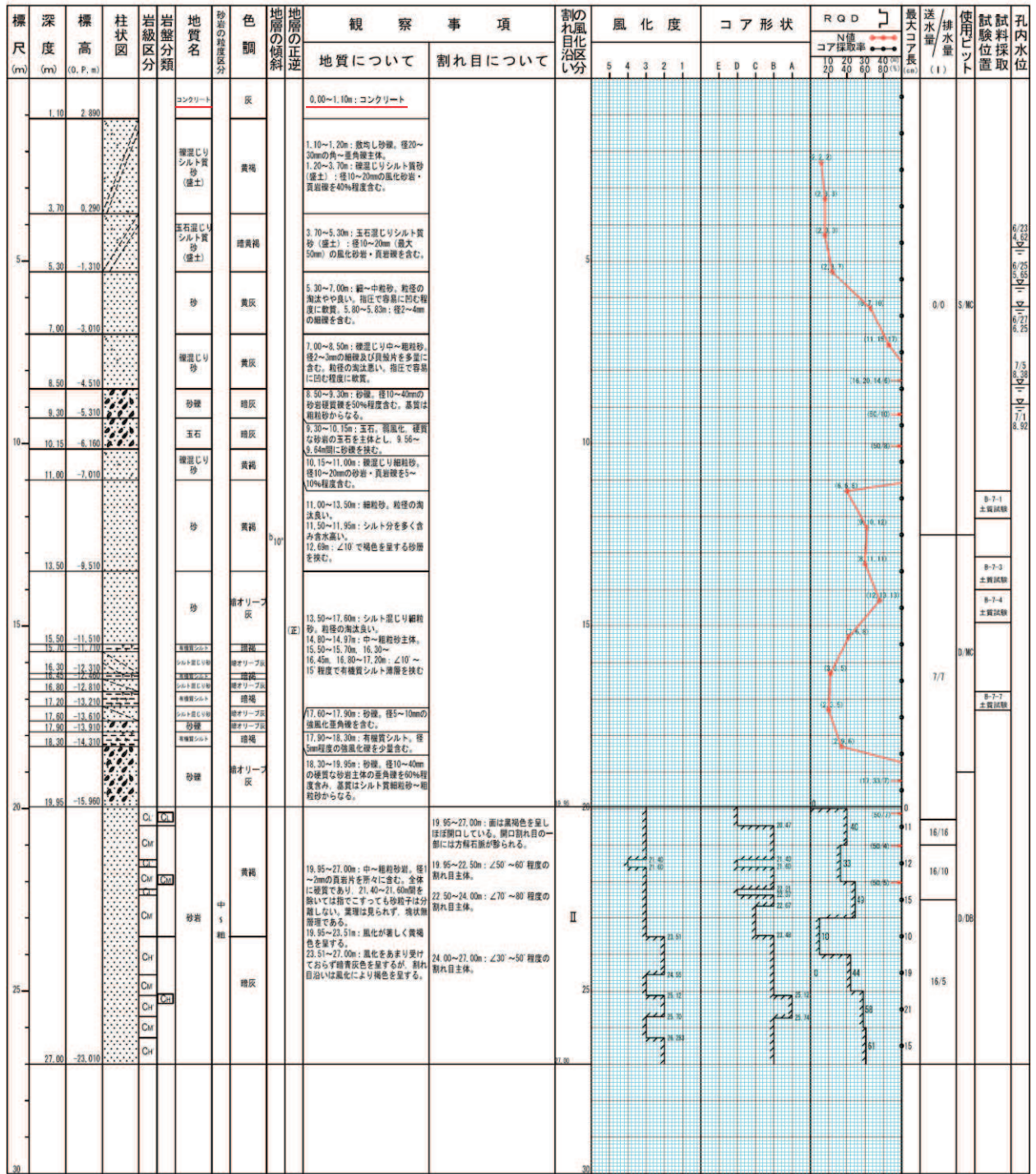


図 1-51(1) ボーリング柱状図 (23B-7)
 (盛土: 深度 0~5.30m, 旧表土: 深度 5.30~19.95m)



図 1-51(2) ボーリングコア写真 (23B-7)
(盛土 : 深度 0~5.30m, 旧表土 : 深度 5.30~19.95m)

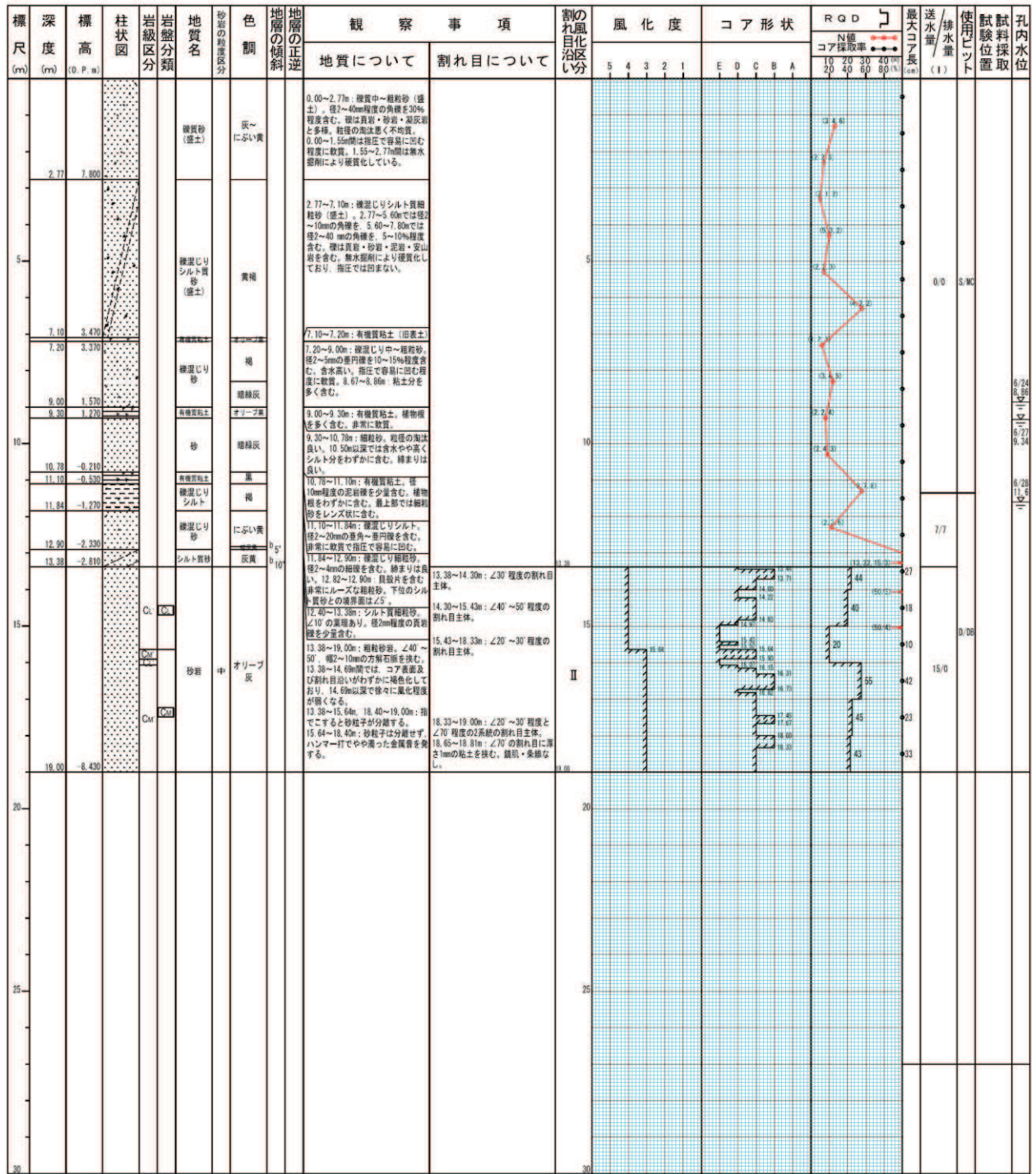


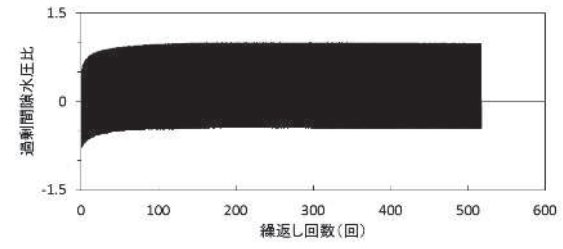
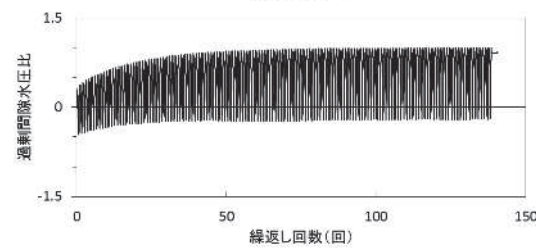
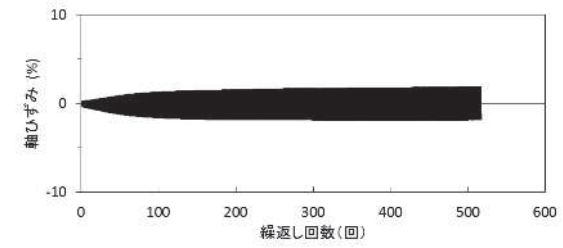
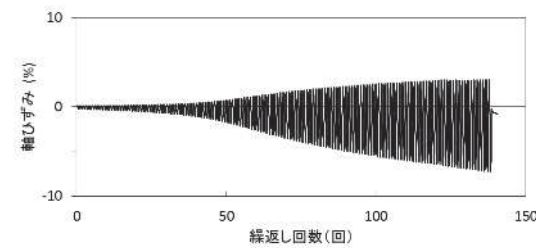
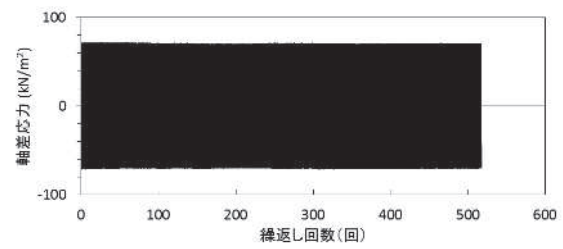
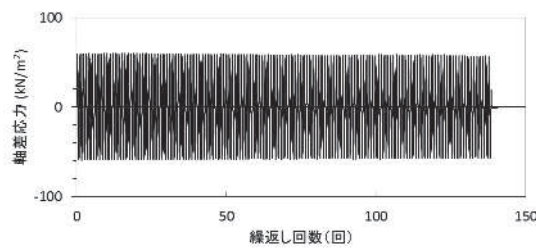
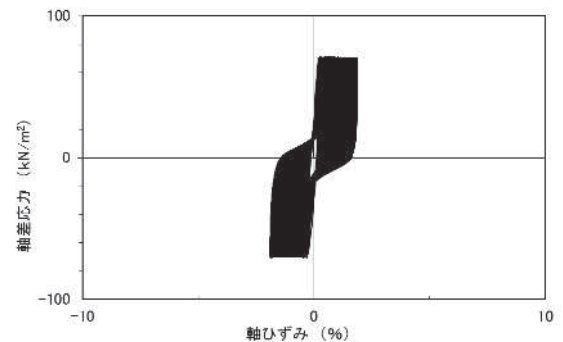
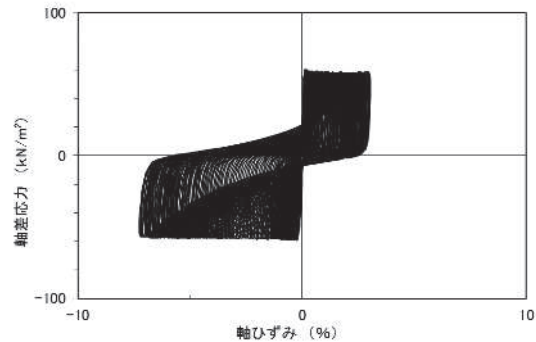
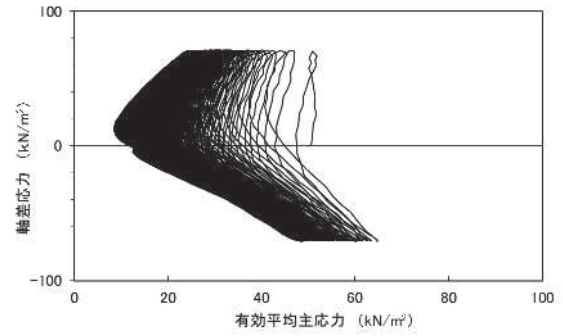
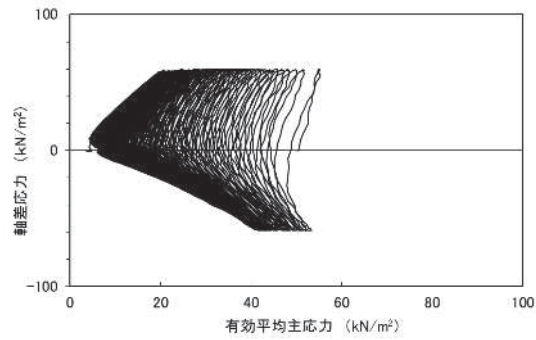
図 1-52(1) ボーリング柱状図 (23B-9)
(盛土: 深度 0~7.10m, 旧表土: 深度 7.10~13.38m)



図 1-52(2) ボーリングコア写真 (23B-9)
(盛土：深度 0～7.10m, 旧表土：深度 7.10～13.38m)

2. 液状化強度試験結果

2.1 盛土の液状化強度試験結果

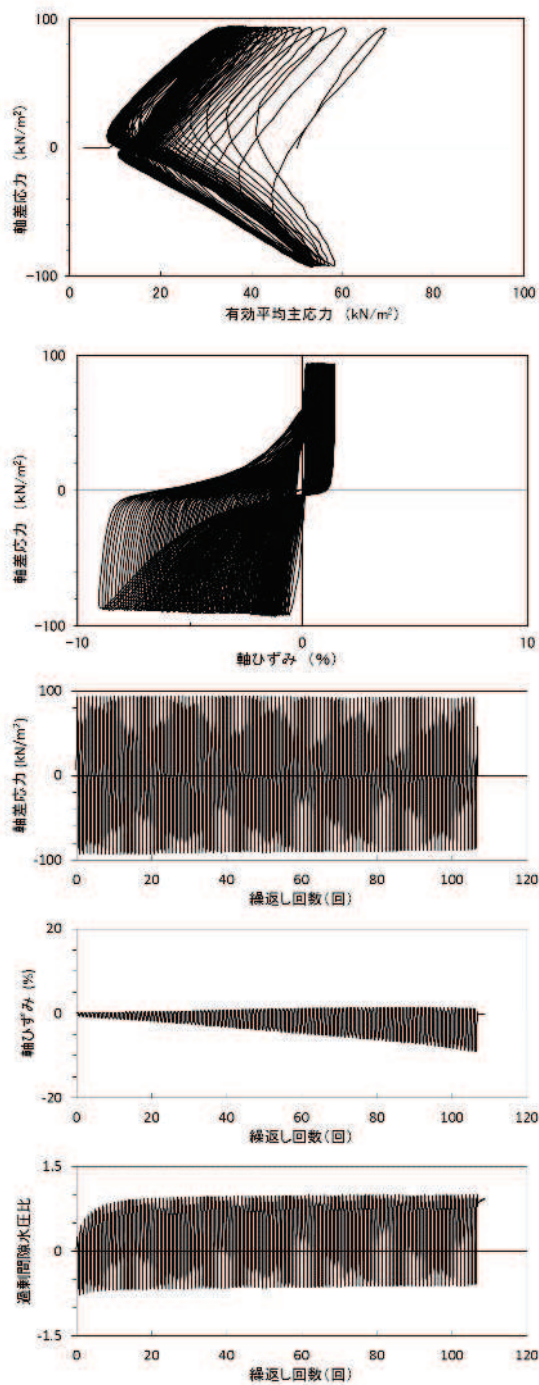


試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

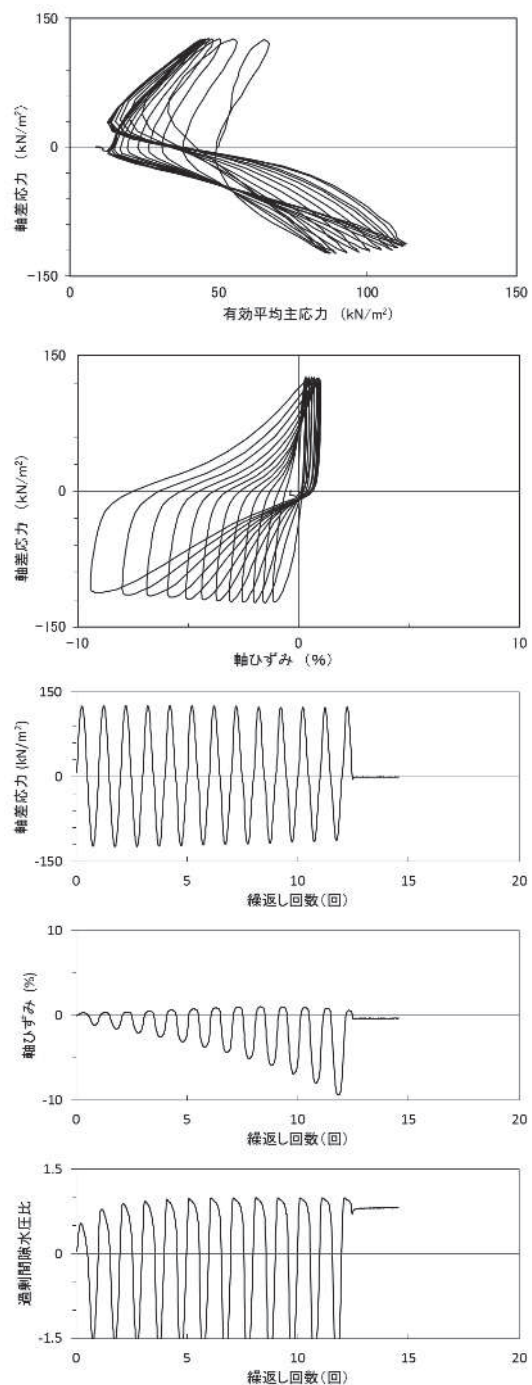
図 2. 1-1 液状化強度試験結果
(B-1-1 試料 (供試体 No. 1))

図 2. 1-2 液状化強度試験結果
(B-1-1 試料 (供試体 No. 2))



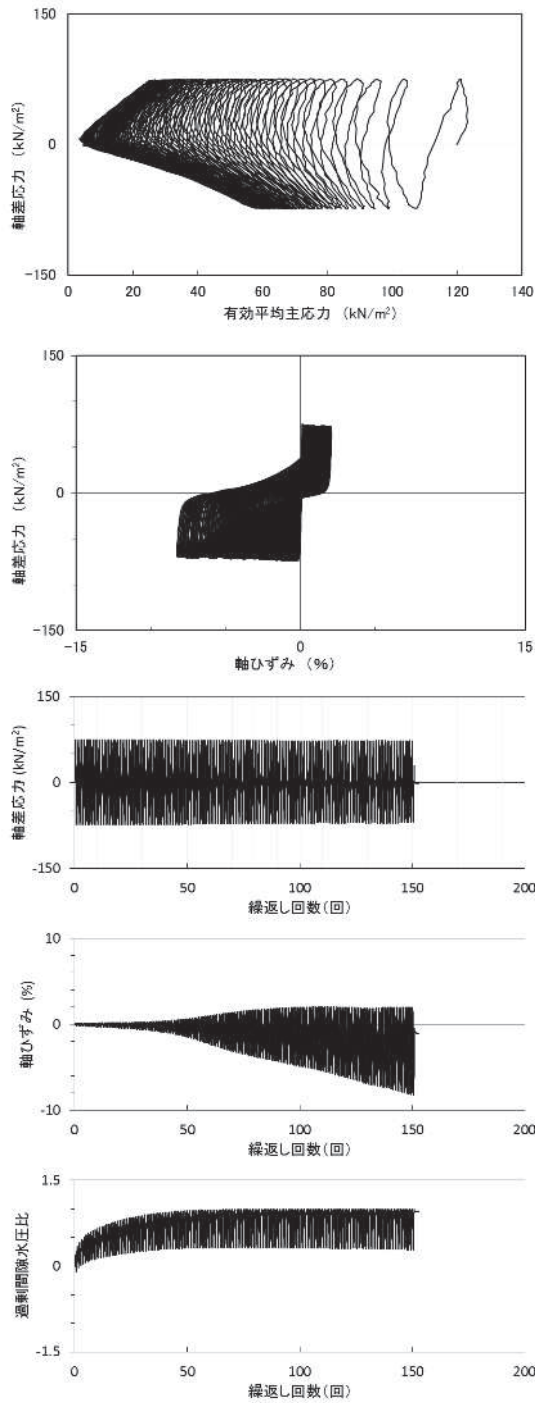
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-3 液状化強度試験結果
(B-1-1 試料 (供試体 No. 3))



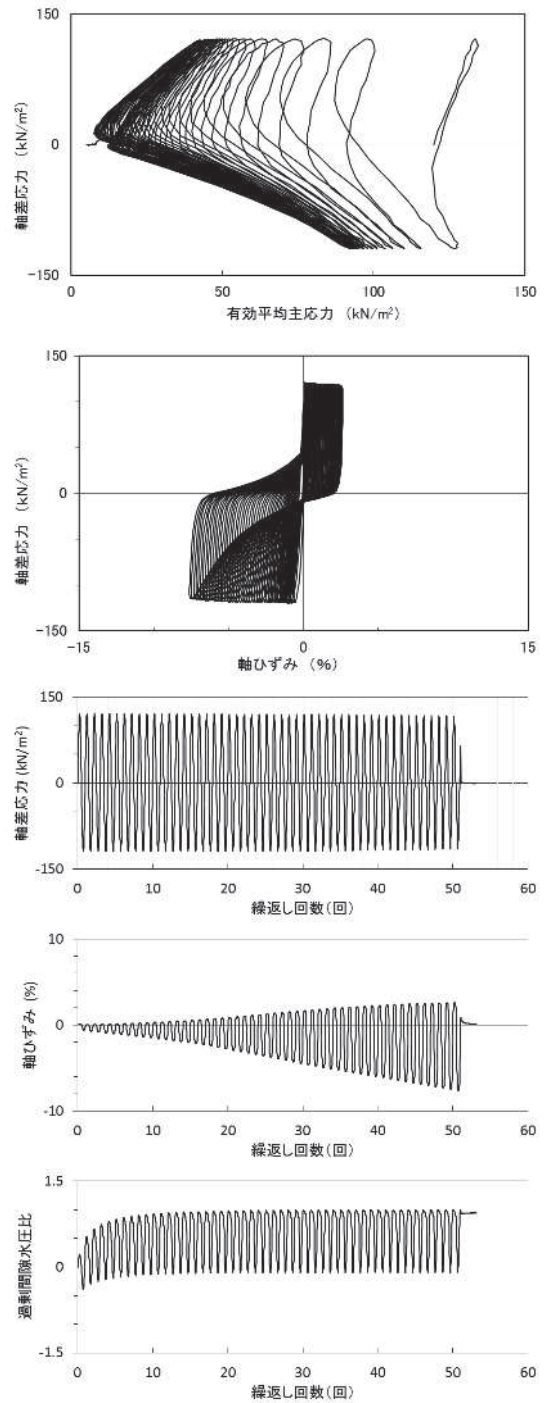
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-4 液状化強度試験結果
(B-1-1 試料 (供試体 No. 4))



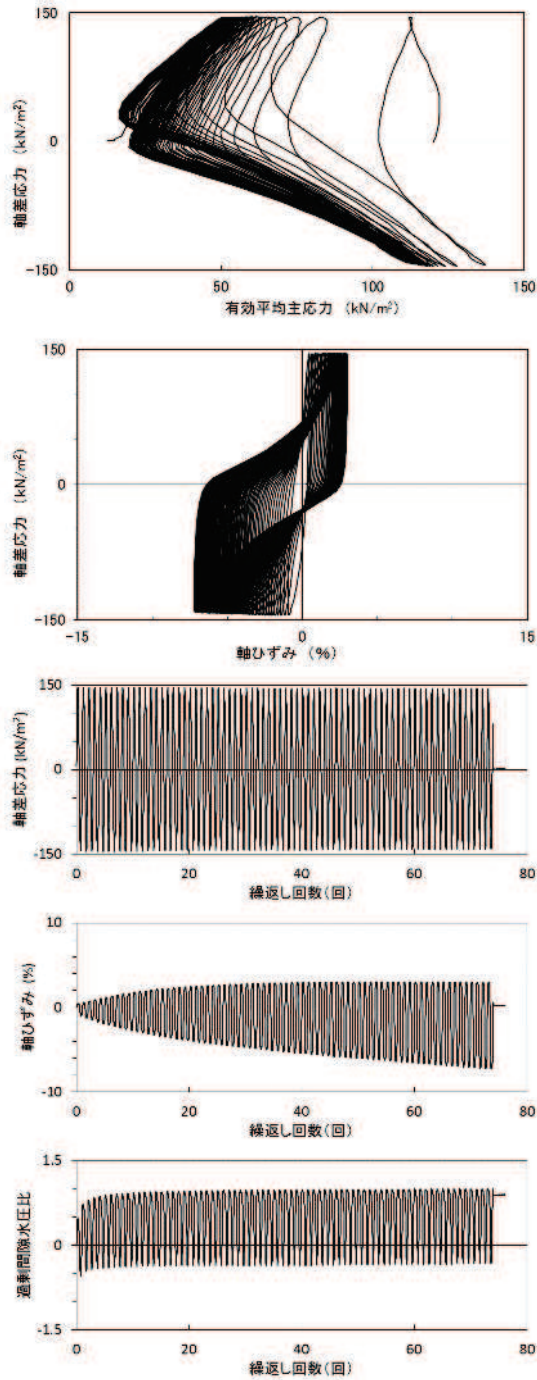
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-5 液状化強度試験結果
(B-1-2 試料 (供試体 No. 1))



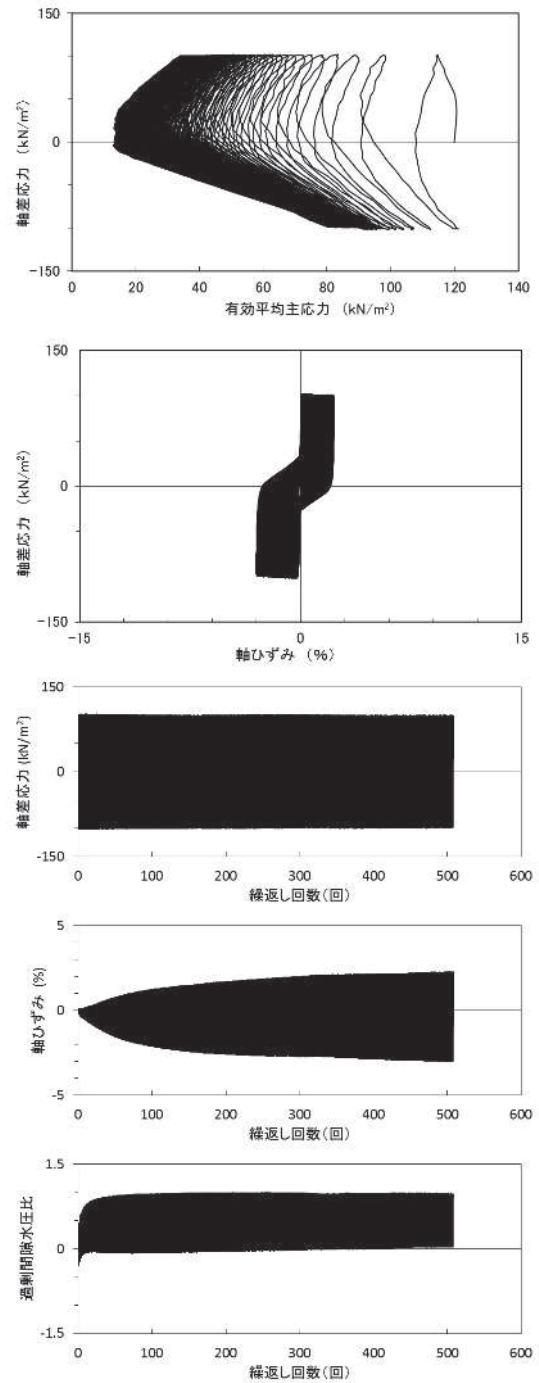
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-6 液状化強度試験結果
(B-1-2 試料 (供試体 No. 2))



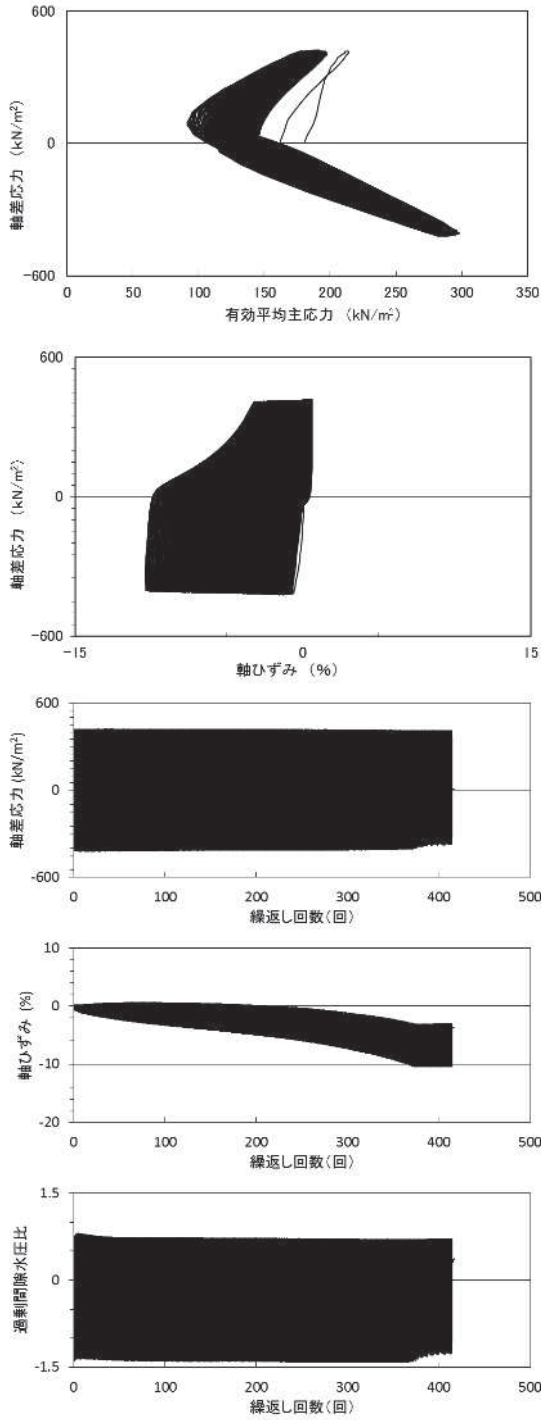
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-7 液状化強度試験結果
(B-1-2 試料 (供試体 No. 3))



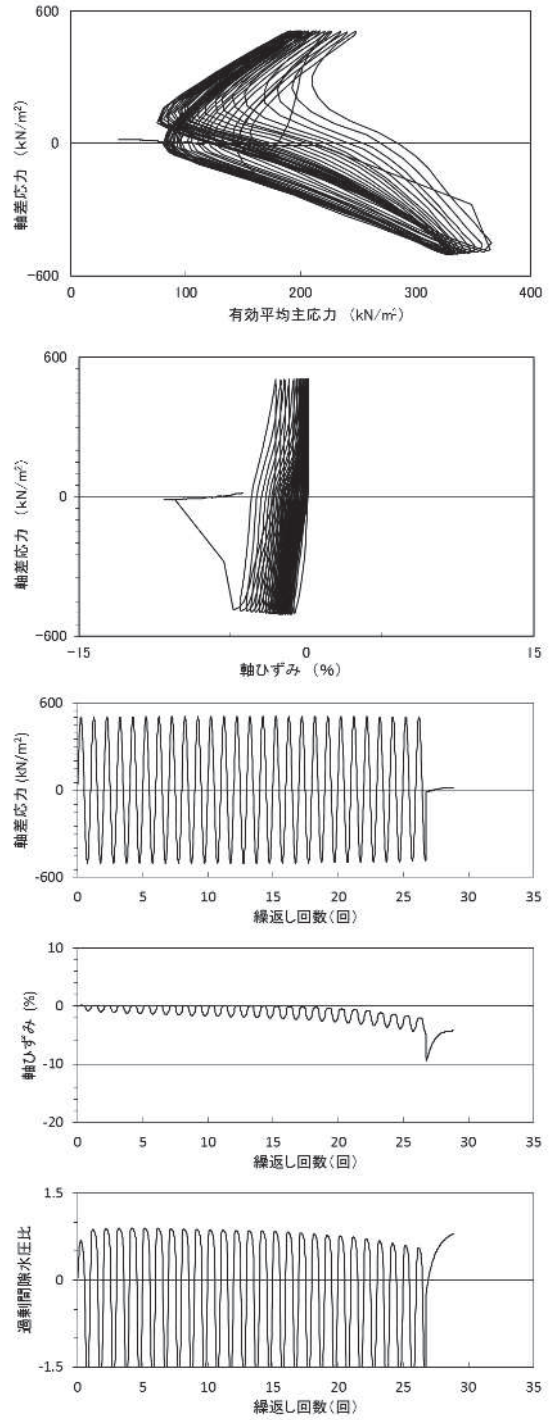
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-8 液状化強度試験結果
(B-1-2 試料 (供試体 No. 4))



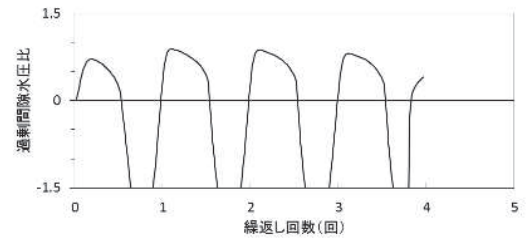
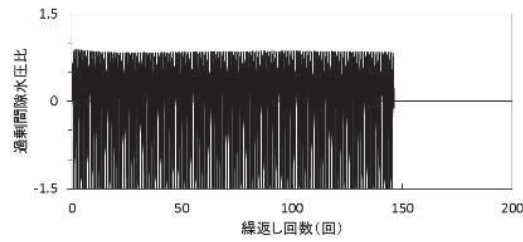
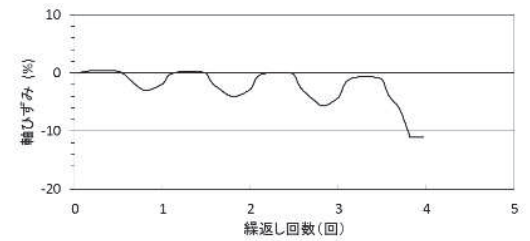
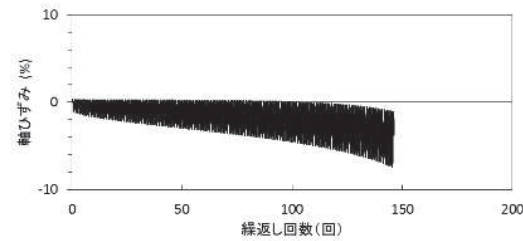
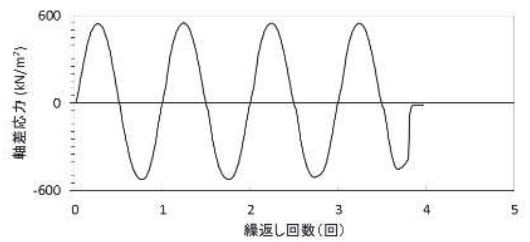
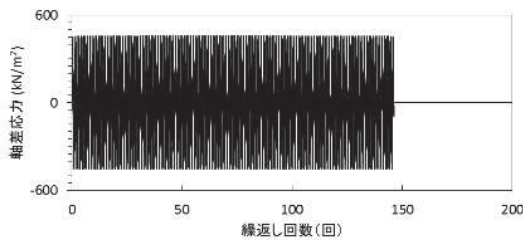
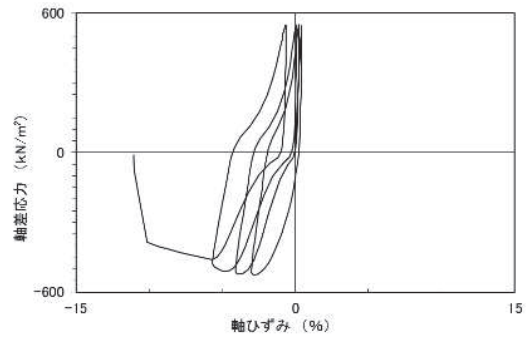
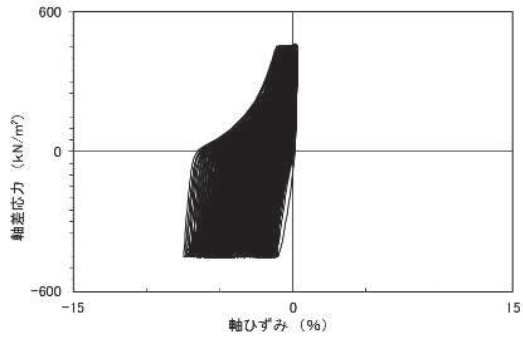
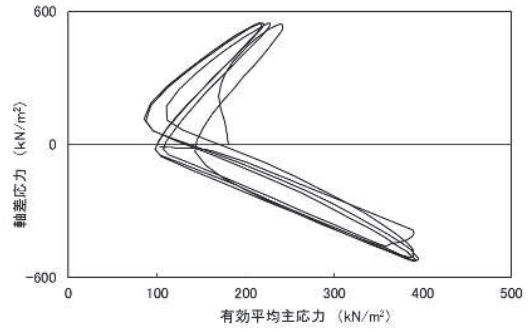
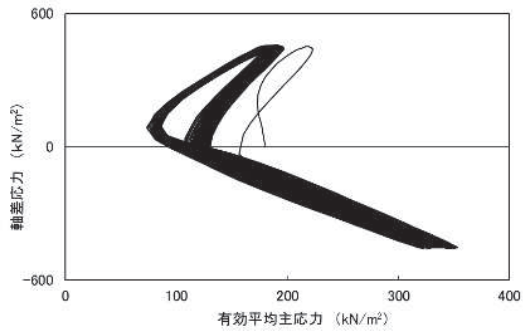
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンシー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-9 液状化強度試験結果
(B-1-3 試料 (供試体 No. 1))



試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンシー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-10 液状化強度試験結果
(B-1-3 試料 (供試体 No. 2))



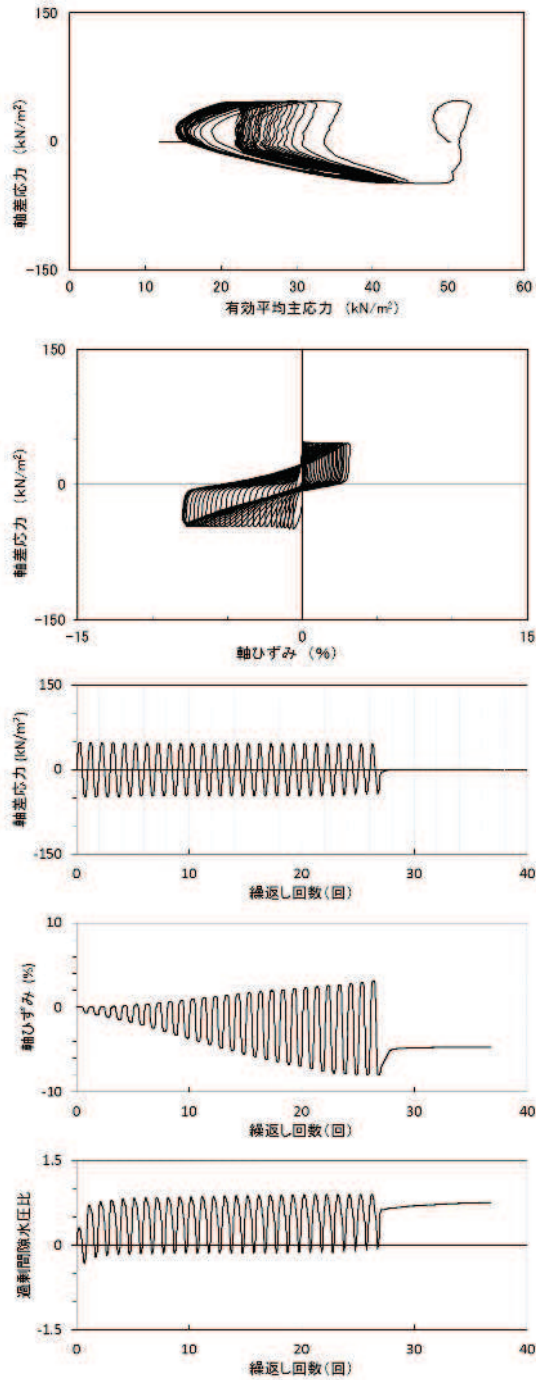
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×※	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

※応力振幅が大きいことによるひずみ発生

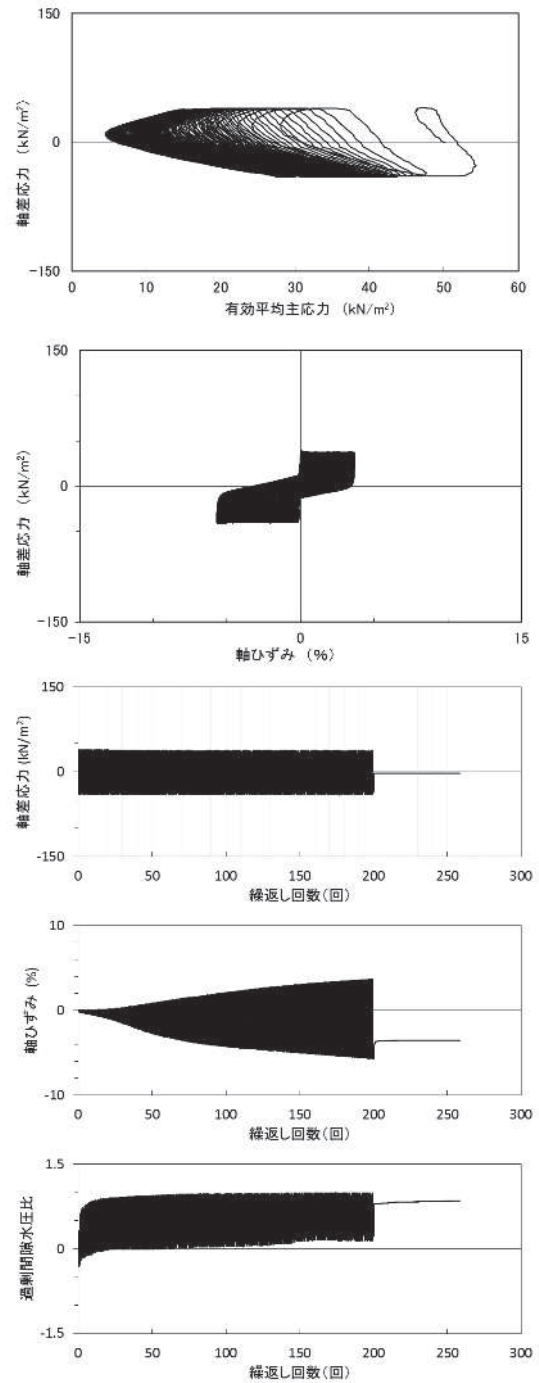
図 2.1-11 液状化強度試験結果
(B-1-3 試料 (供試体 No. 3))

図 2.1-12 液状化強度試験結果
(B-1-3 試料 (供試体 No. 4))



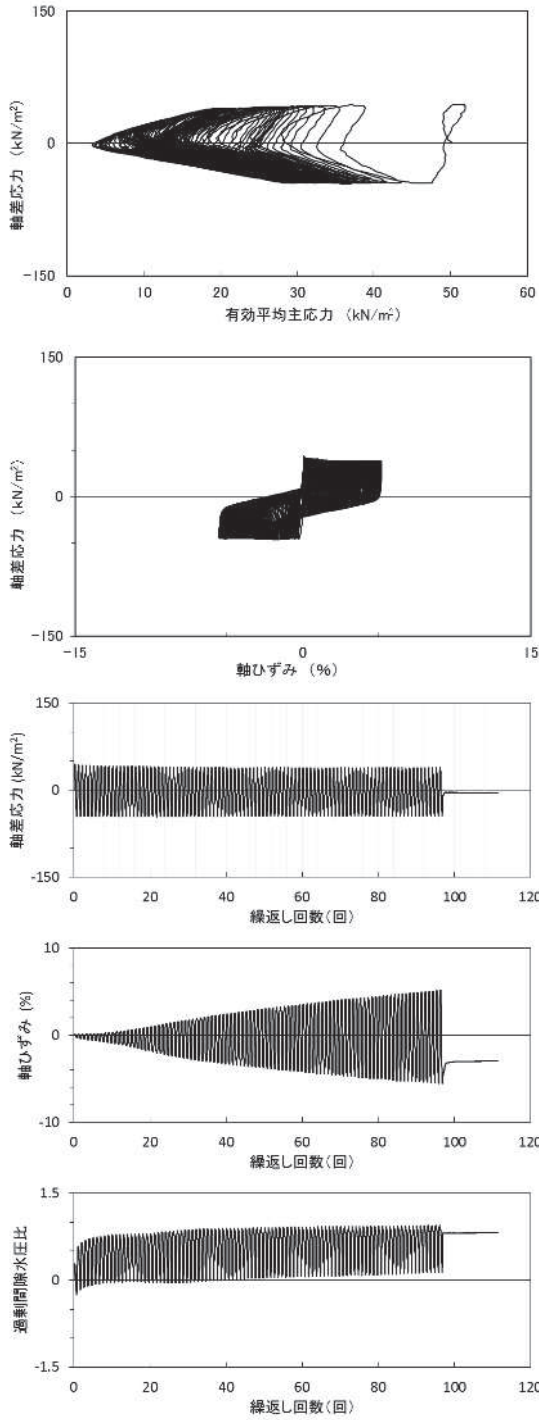
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-13 液状化強度試験結果
(B-1-4 試料 (供試体 No. 1))



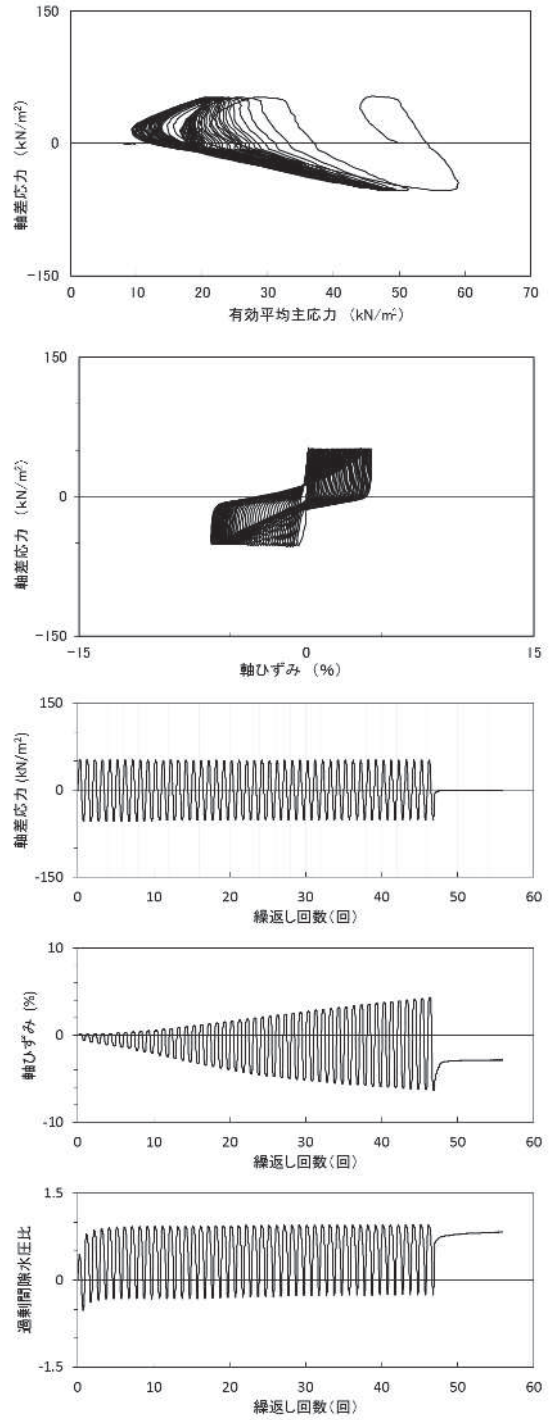
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-14 液状化強度試験結果
(B-1-4 試料 (供試体 No. 2))



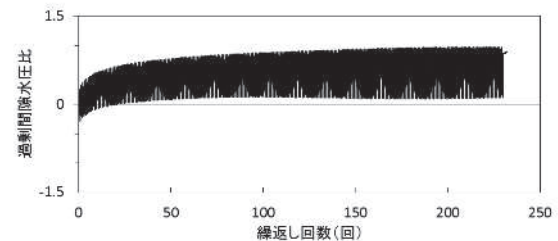
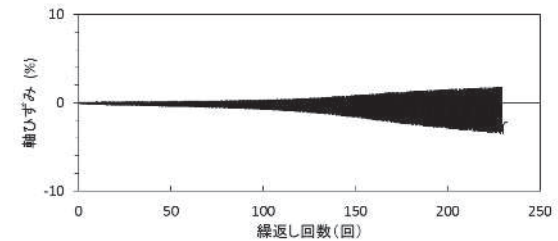
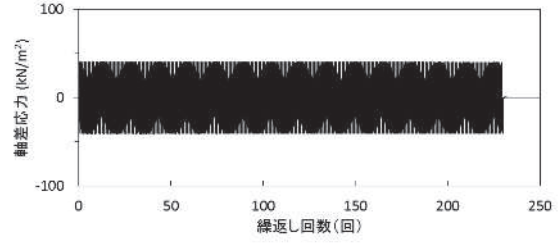
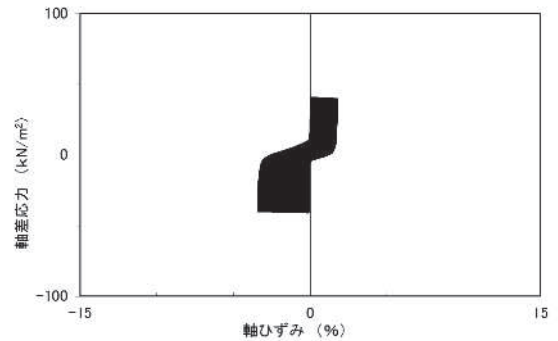
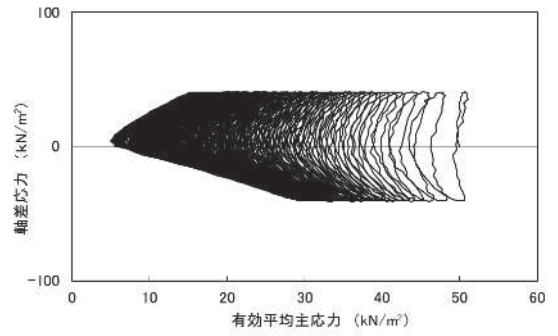
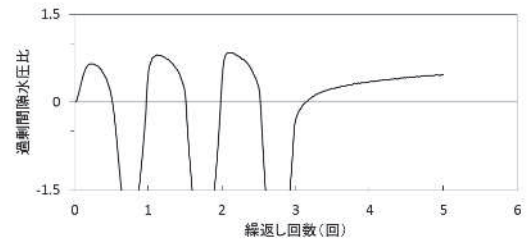
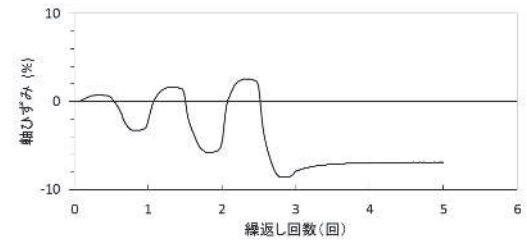
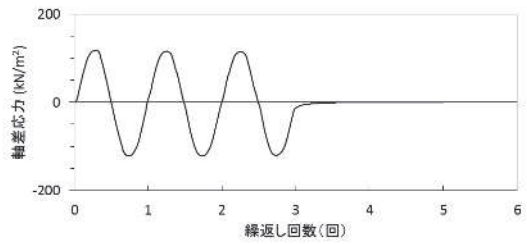
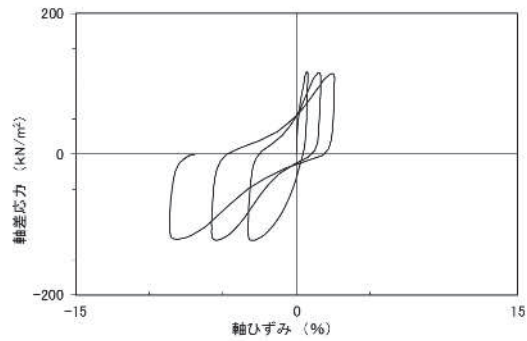
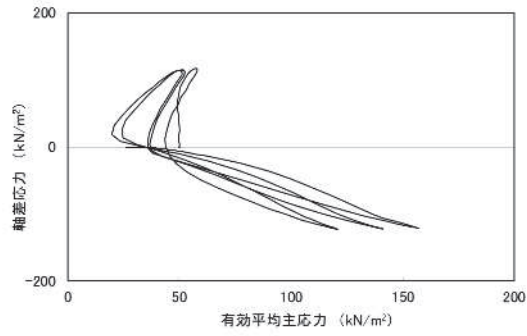
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-15 液状化強度試験結果
(B-1-4 試料 (供試体 No. 3))



試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-16 液状化強度試験結果
(B-1-4 試料 (供試体 No. 4))

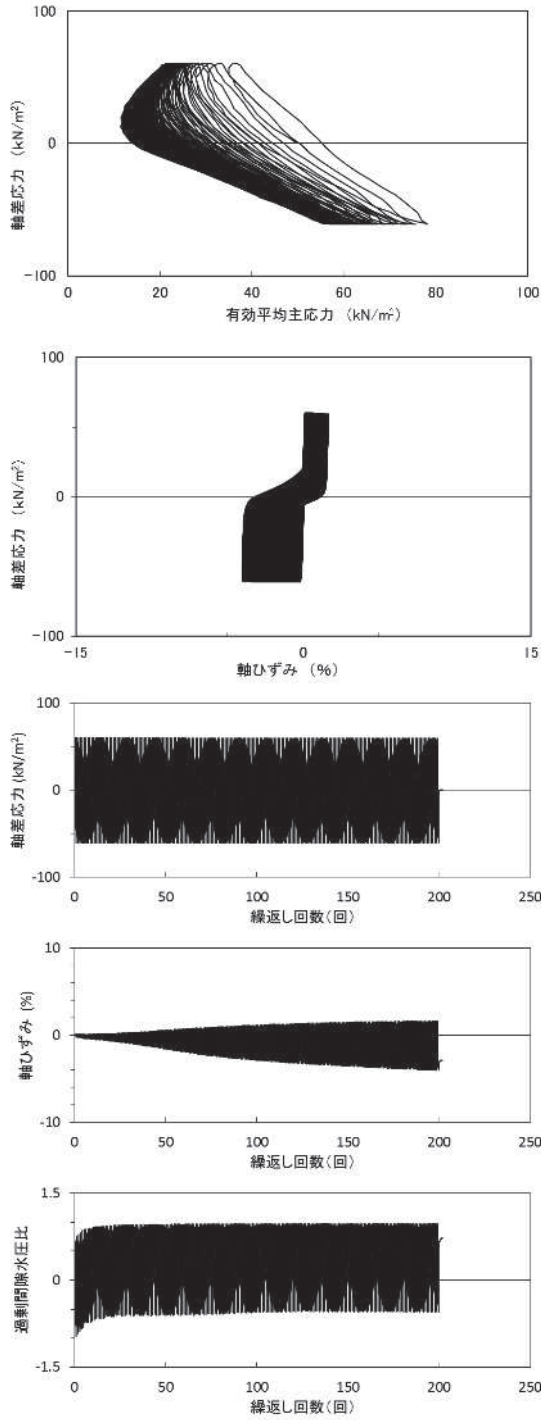


試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	×	非液状化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-17 液状化強度試験結果
(B-2-1 試料 (供試体 No. 1))

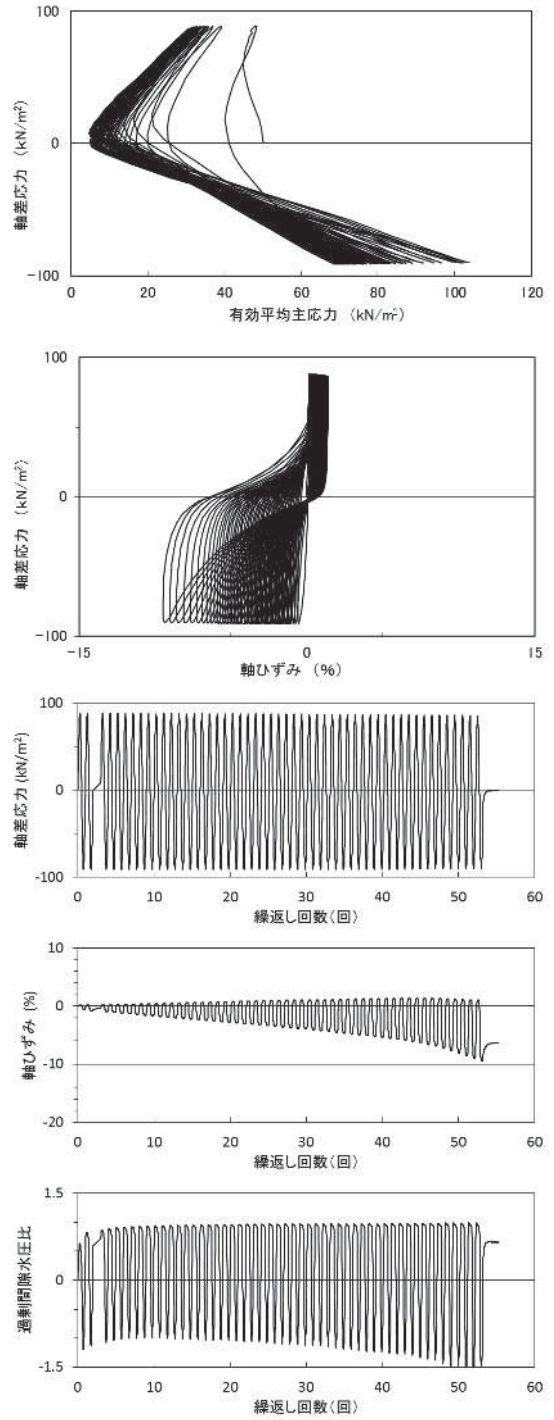
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-18 液状化強度試験結果
(B-2-1 試料 (供試体 No. 2))



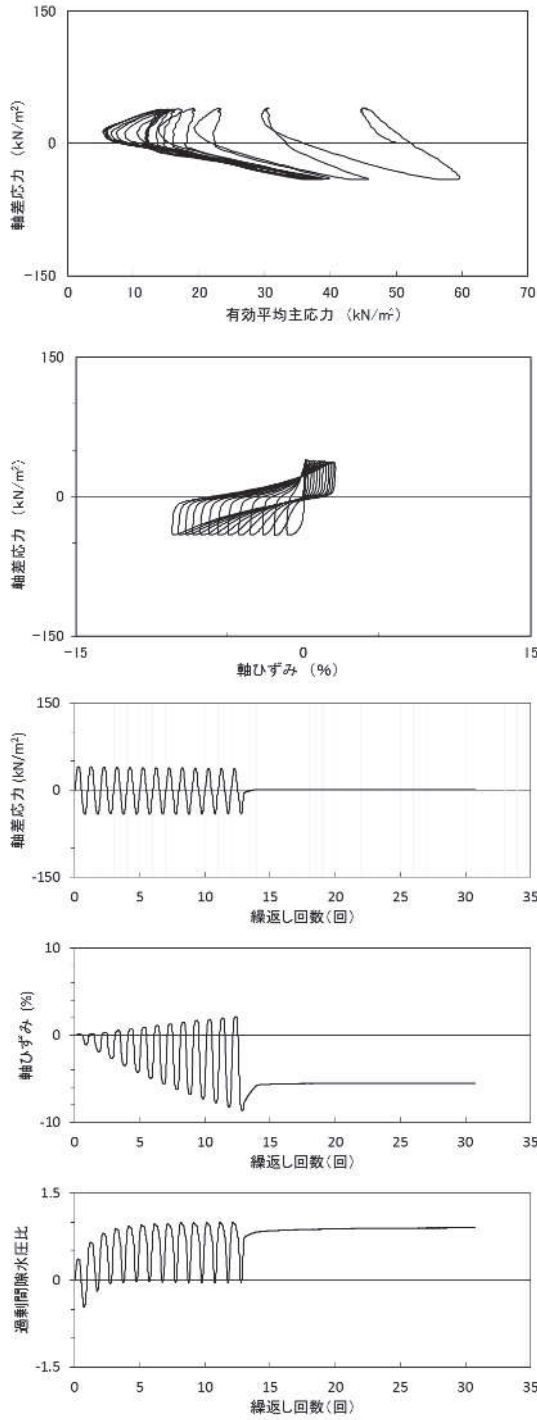
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-19 液状化強度試験結果
(B-2-1 試料 (供試体 No. 3))



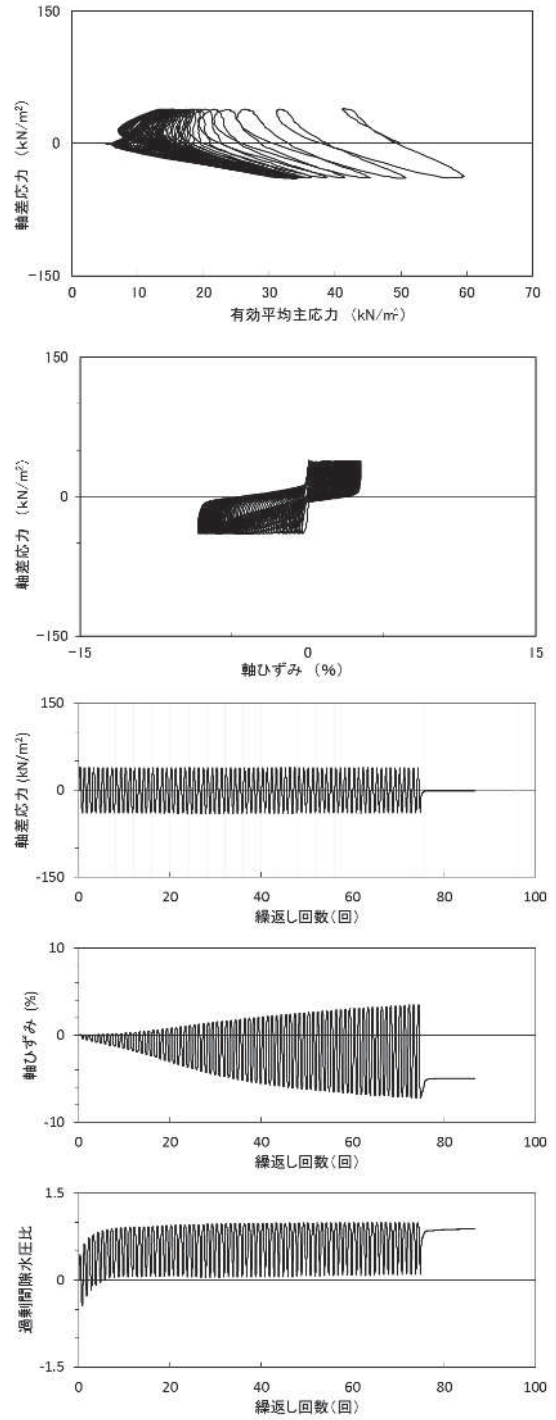
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-20 液状化強度試験結果
(B-2-1 試料 (供試体 No. 4))



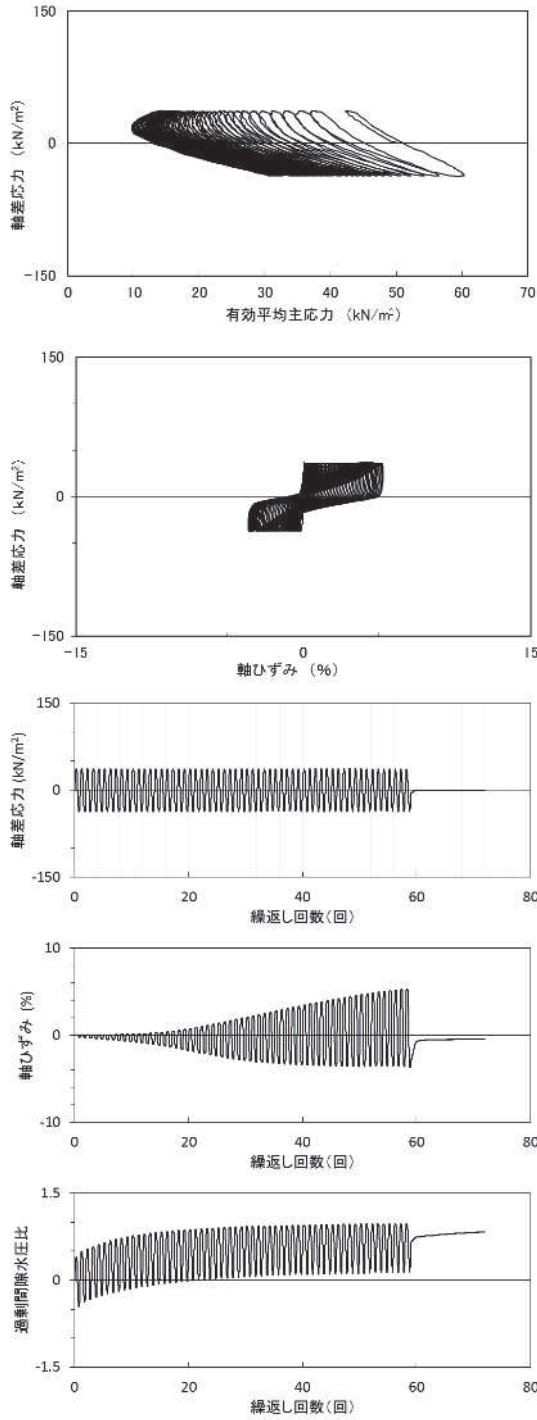
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-21 液状化強度試験結果
(B-2-2 試料 (供試体 No. 1))



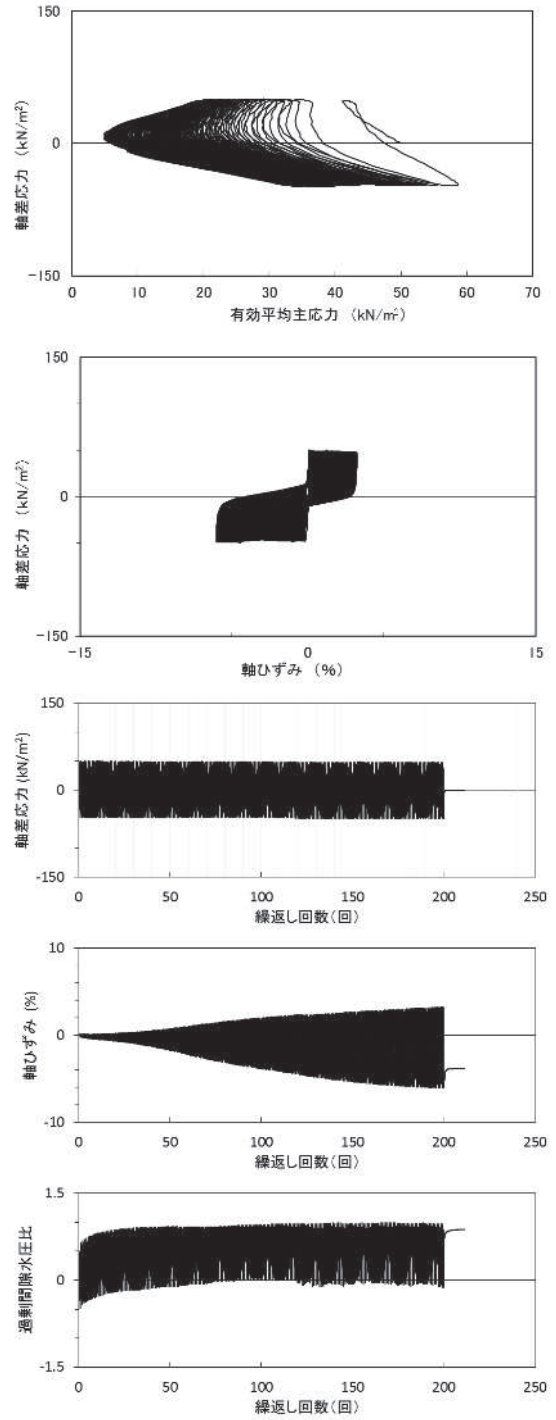
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-22 液状化強度試験結果
(B-2-2 試料 (供試体 No. 2))



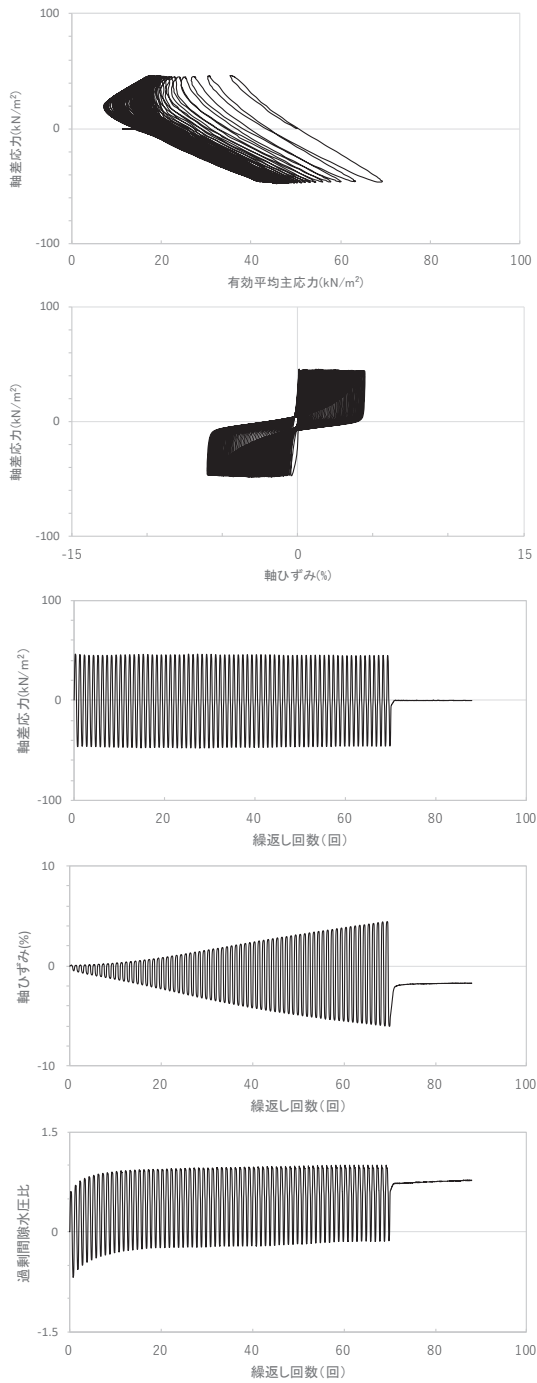
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-23 液状化強度試験結果
(B-2-2 試料 (供試体 No. 3))



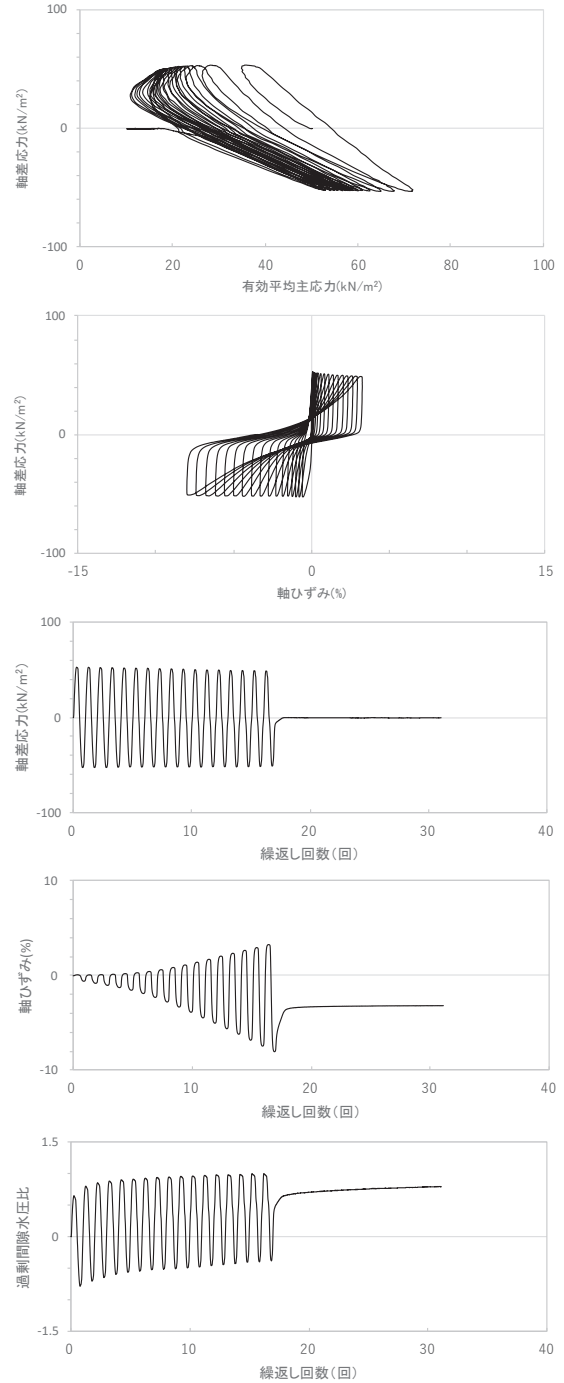
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-24 液状化強度試験結果
(B-2-2 試料 (供試体 No. 4))



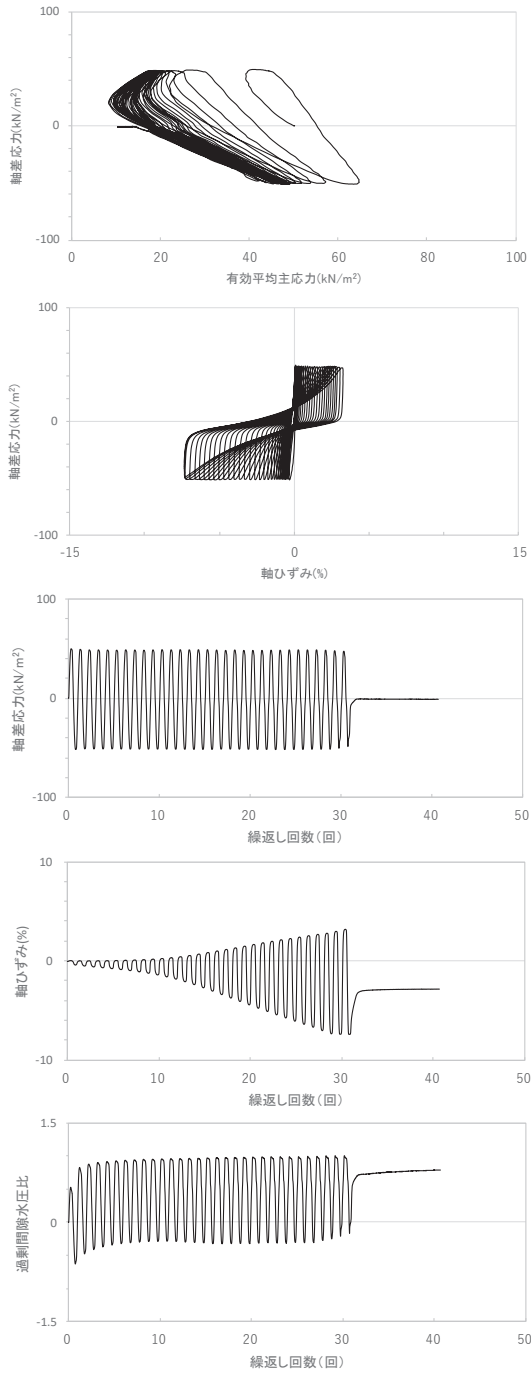
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する (95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する (ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する (有効応力回復)	○	

図 2.1-25 液状化強度試験結果
(B-3 試料 (供試体 No. 1))



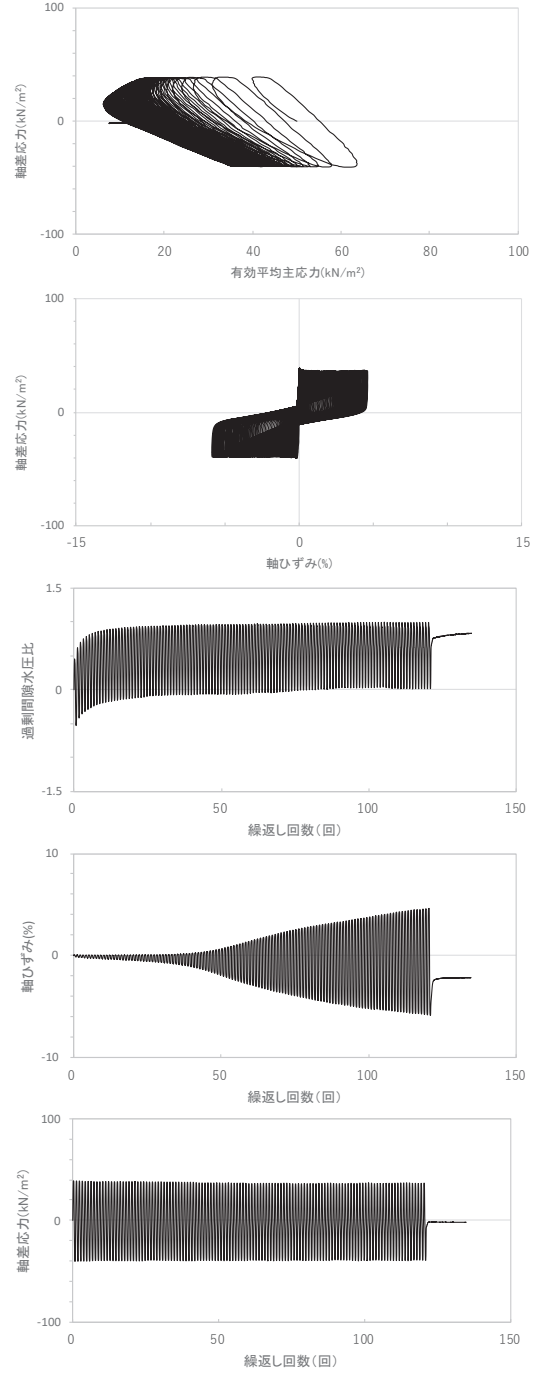
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する (95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する (ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する (有効応力回復)	○	

図 2.1-26 液状化強度試験結果
(B-3 試料 (供試体 No. 2))



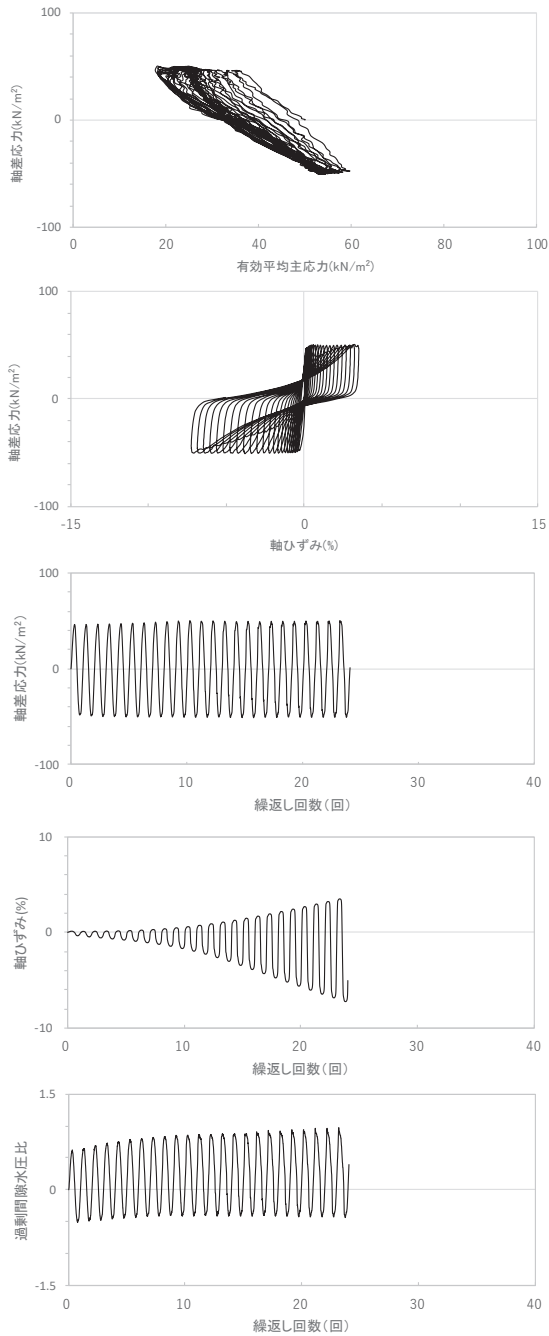
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する (95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する (ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する (有効応力回復)	○	

図 2.1-27 液状化強度試験結果
(B-3 試料 (供試体 No. 3))



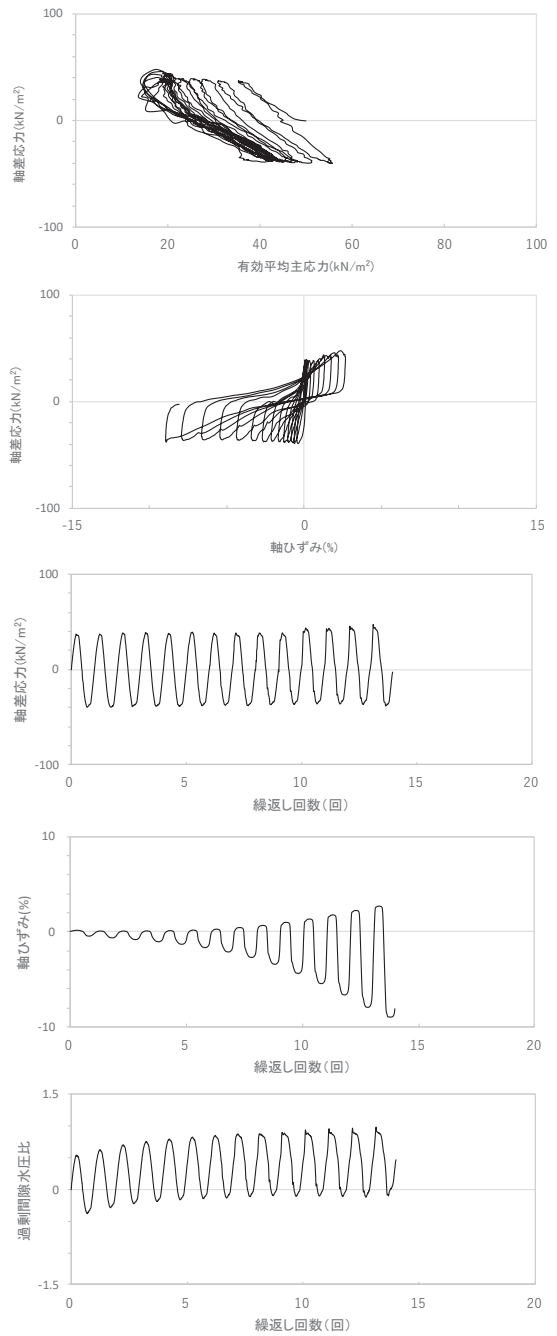
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する (95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する (ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する (有効応力回復)	○	

図 2.1-28 液状化強度試験結果
(B-3 試料 (供試体 No. 4))



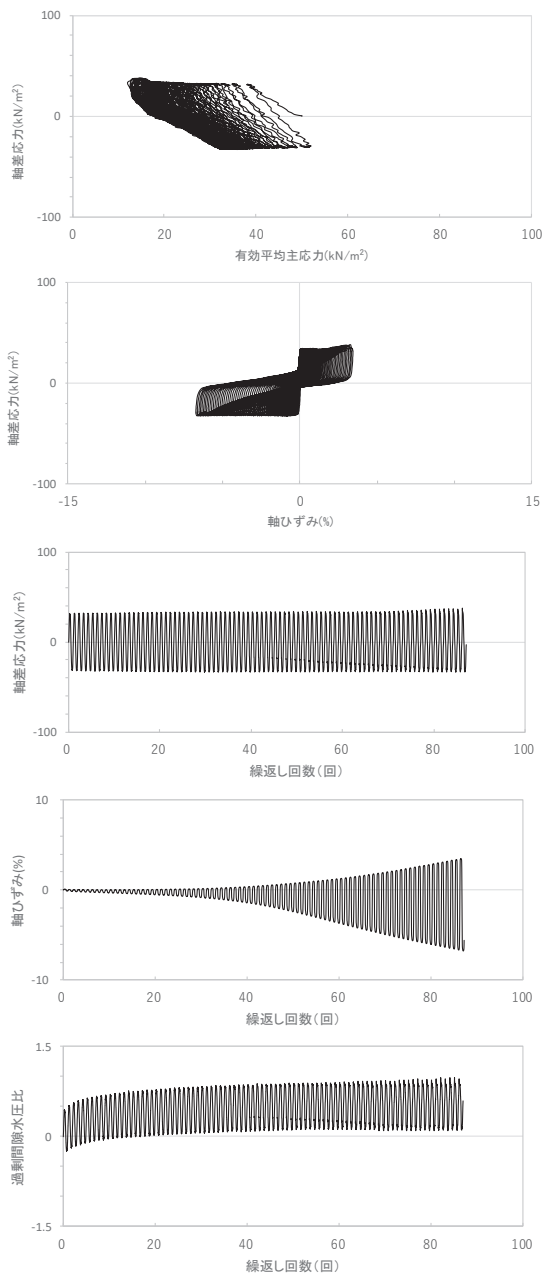
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する (95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する (ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する (有効応力回復)	○	

図 2.1-29 液状化強度試験結果
(B-4 試料 (供試体 No. 1))



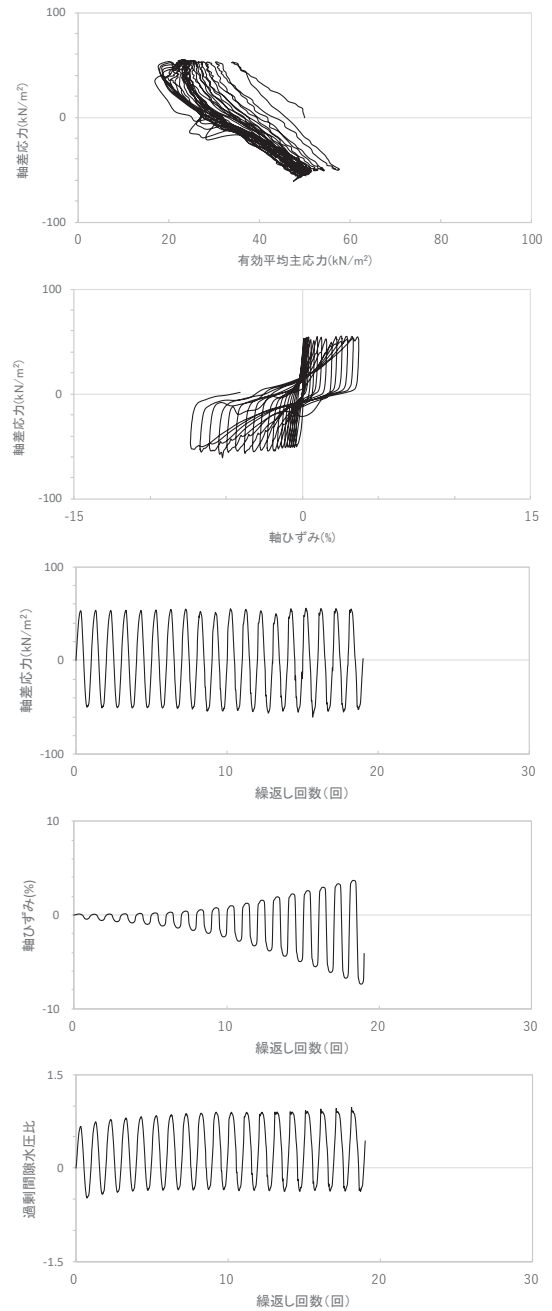
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する (95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する (ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する (有効応力回復)	○	

図 2.1-30 液状化強度試験結果
(B-4 試料 (供試体 No. 2))



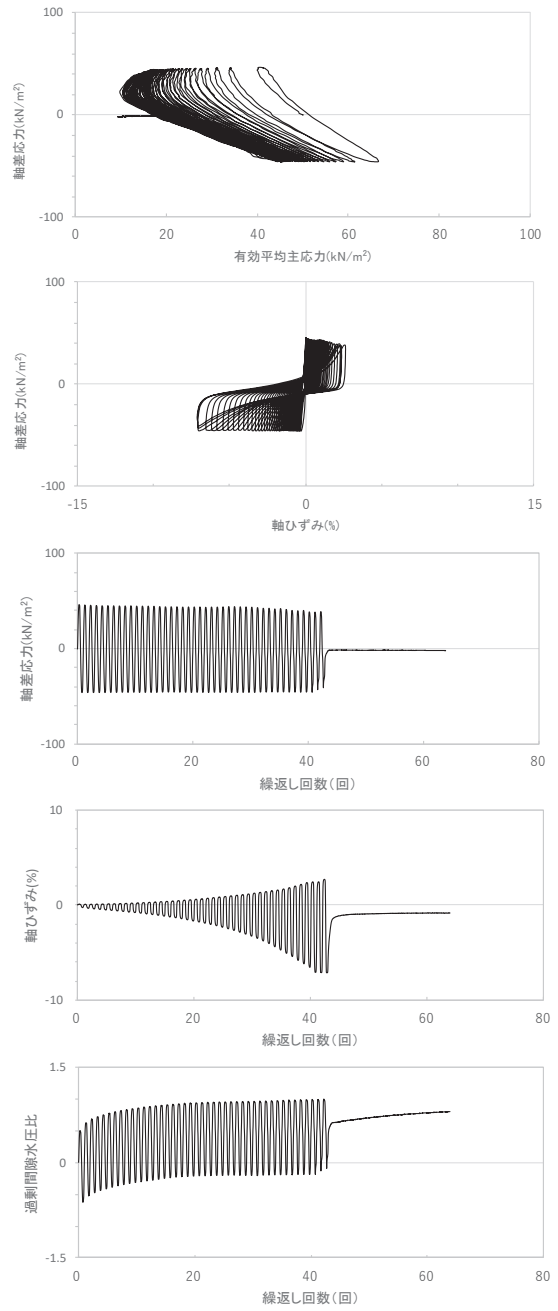
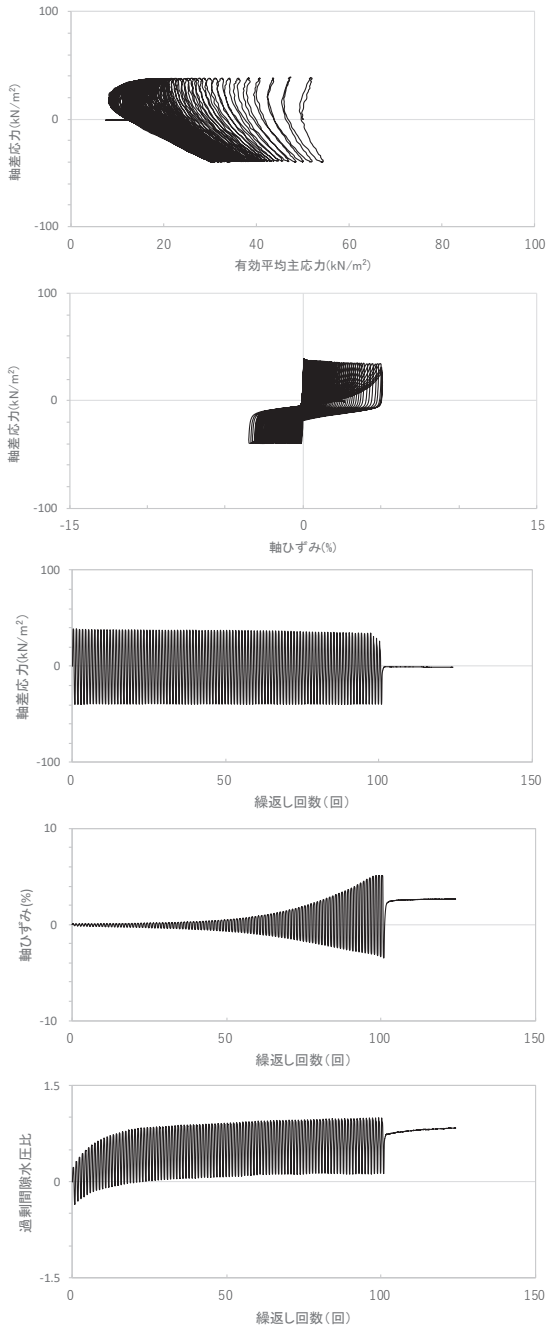
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンシー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-31 液状化強度試験結果
(B-4 試料 (供試体 No. 3))



試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンシー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-32 液状化強度試験結果
(B-4 試料 (供試体 No. 4))

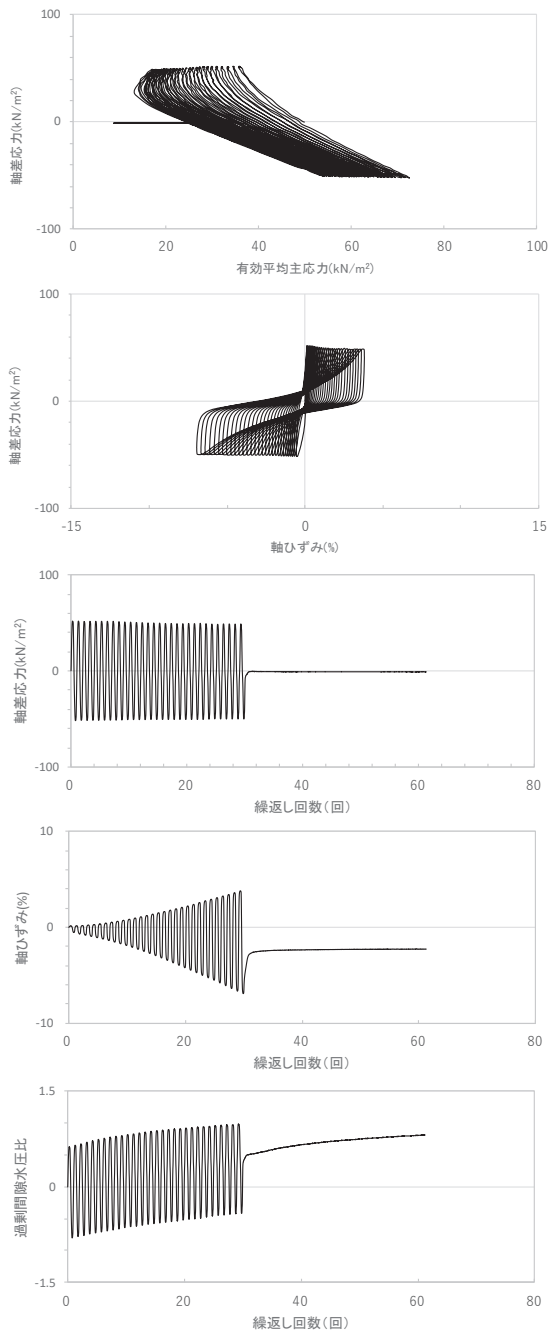


試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する (95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する (ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する (有効応力回復)	○	

試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する (95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する (ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する (有効応力回復)	○	

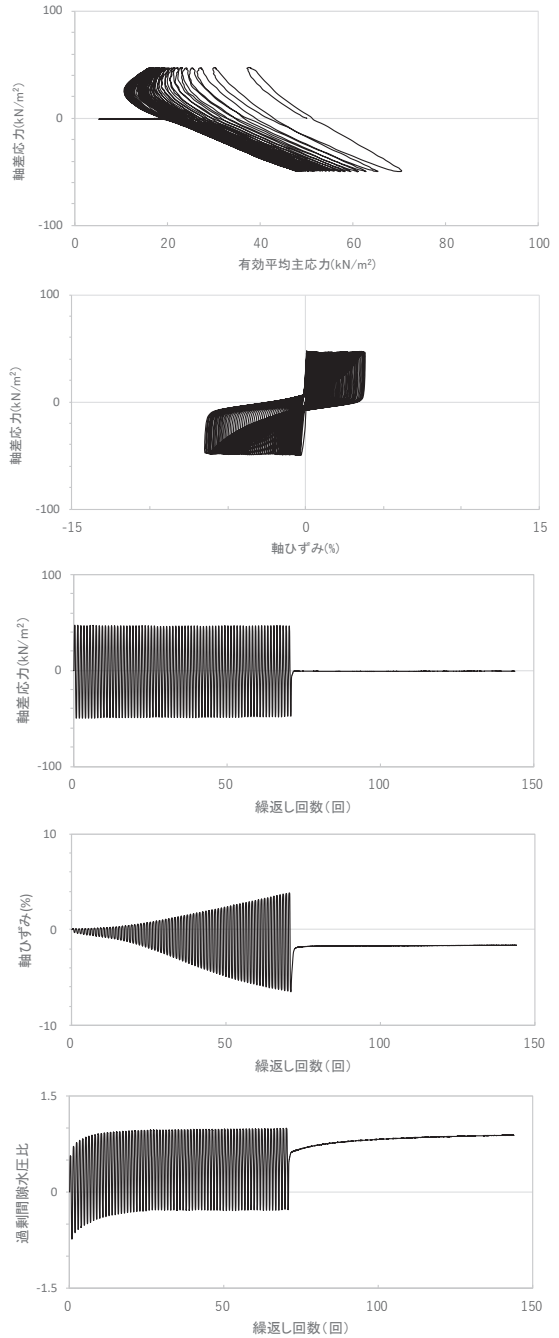
図 2.1-33 液状化強度試験結果
(B-5 試料 (供試体 No. 1))

図 2.1-34 液状化強度試験結果
(B-5 試料 (供試体 No. 2))



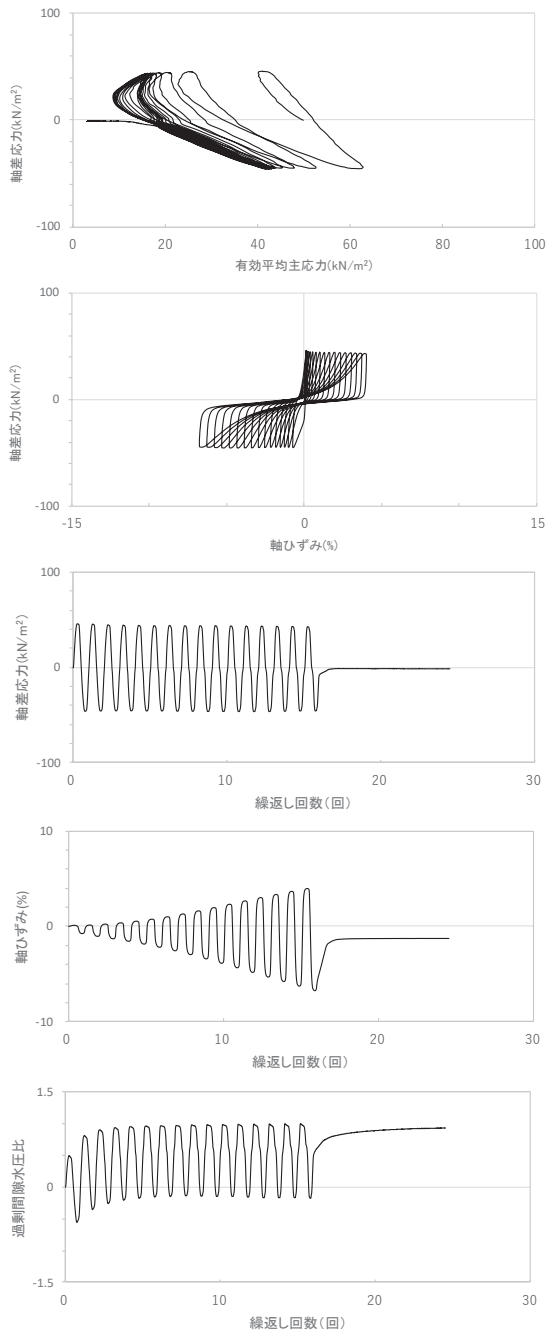
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する (95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する (ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する (有効応力回復)	○	

図 2.1-35 液状化強度試験結果
(B-5 試料 (供試体 No. 3))



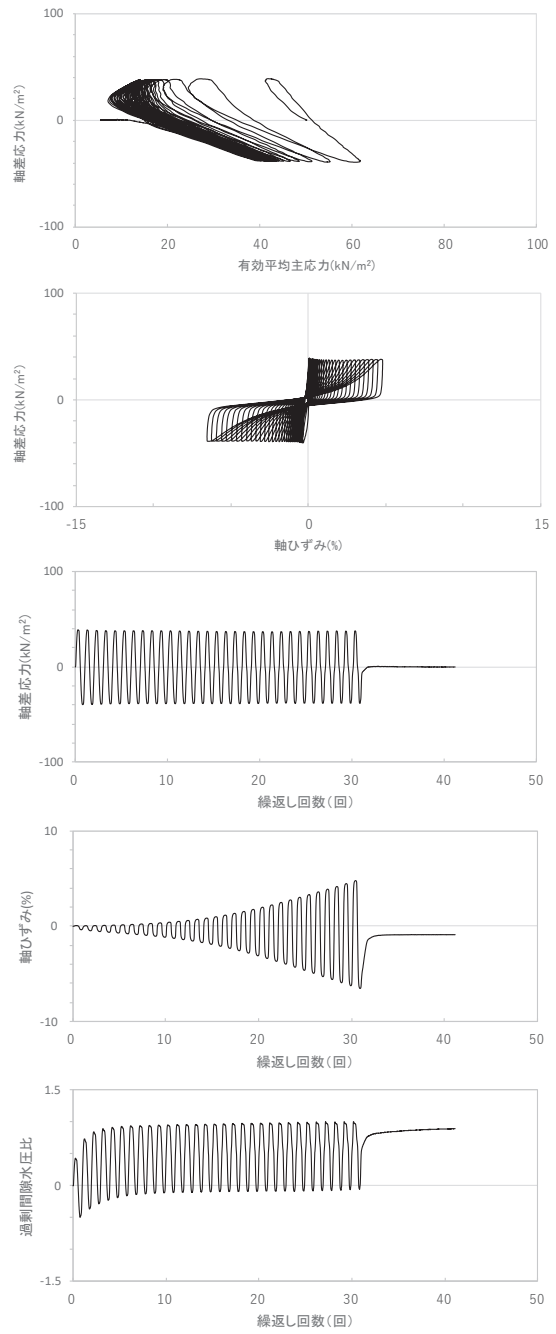
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する (95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する (ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する (有効応力回復)	○	

図 2.1-36 液状化強度試験結果
(B-5 試料 (供試体 No. 4))



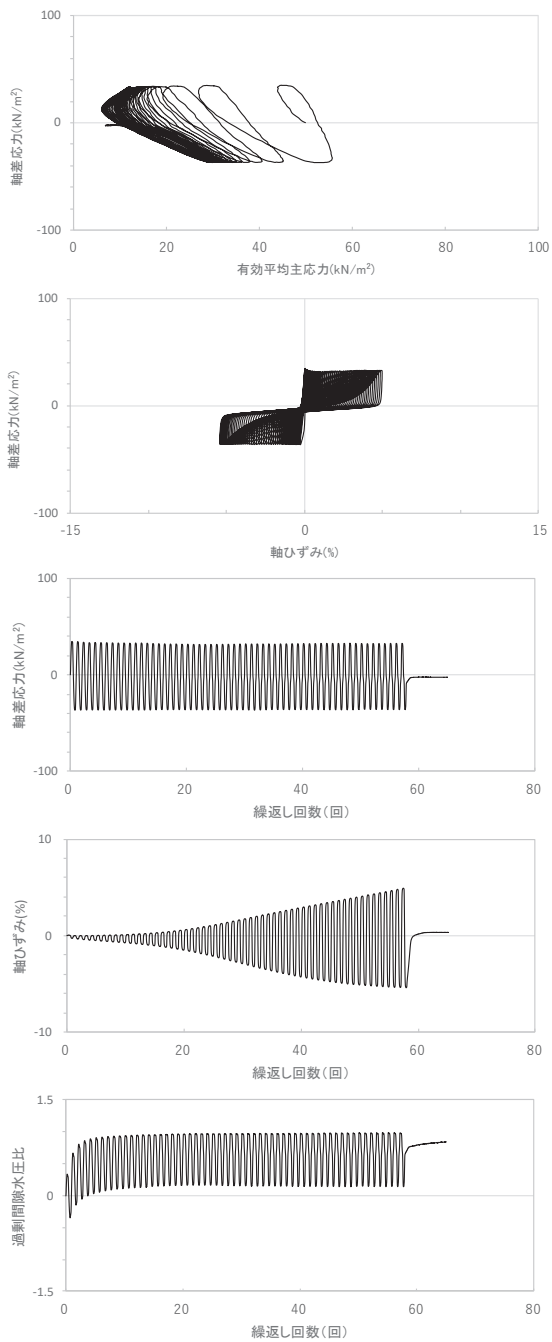
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-37 液状化強度試験結果
(B-6 試料 (供試体 No. 1))



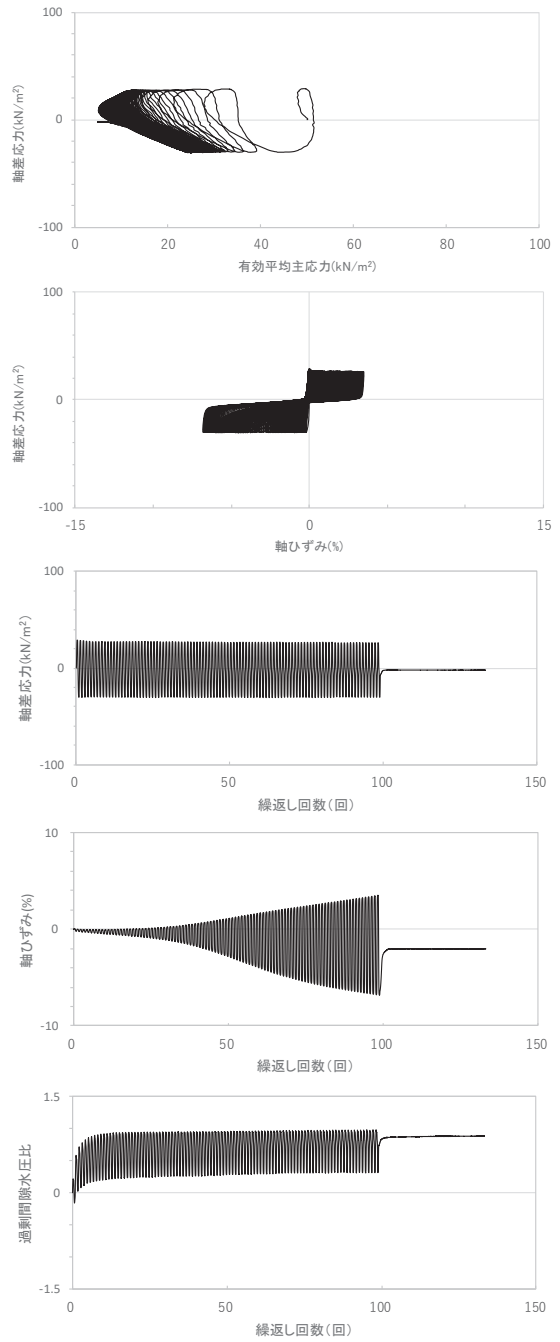
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-38 液状化強度試験結果
(B-6 試料 (供試体 No. 2))



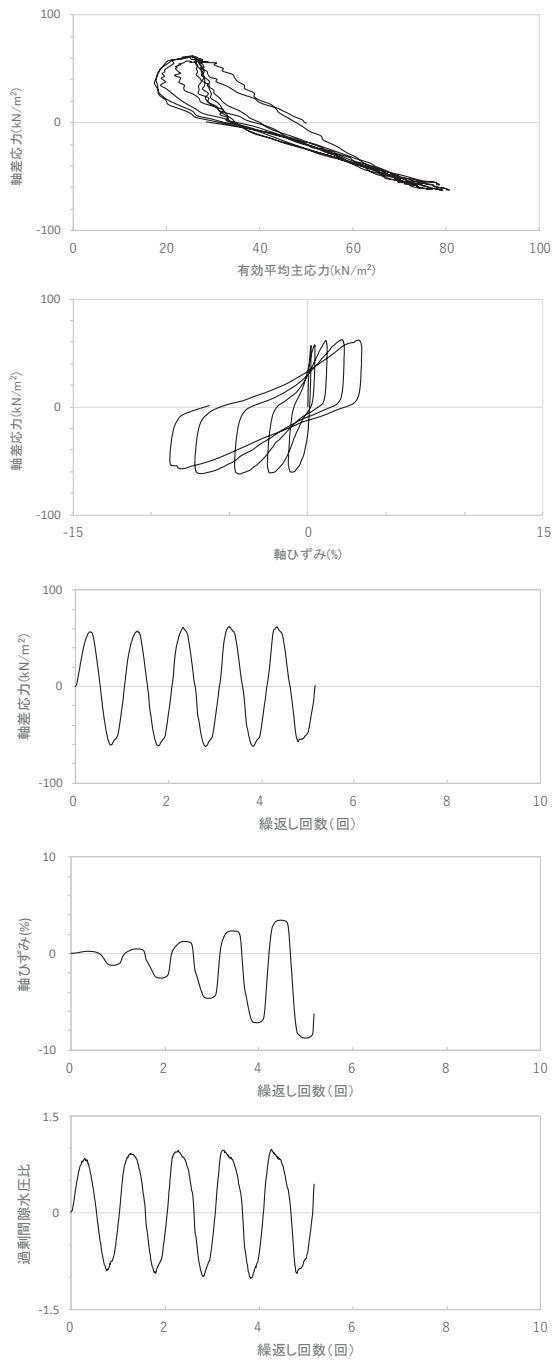
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-39 液状化強度試験結果
(B-6 試料 (供試体 No. 3))



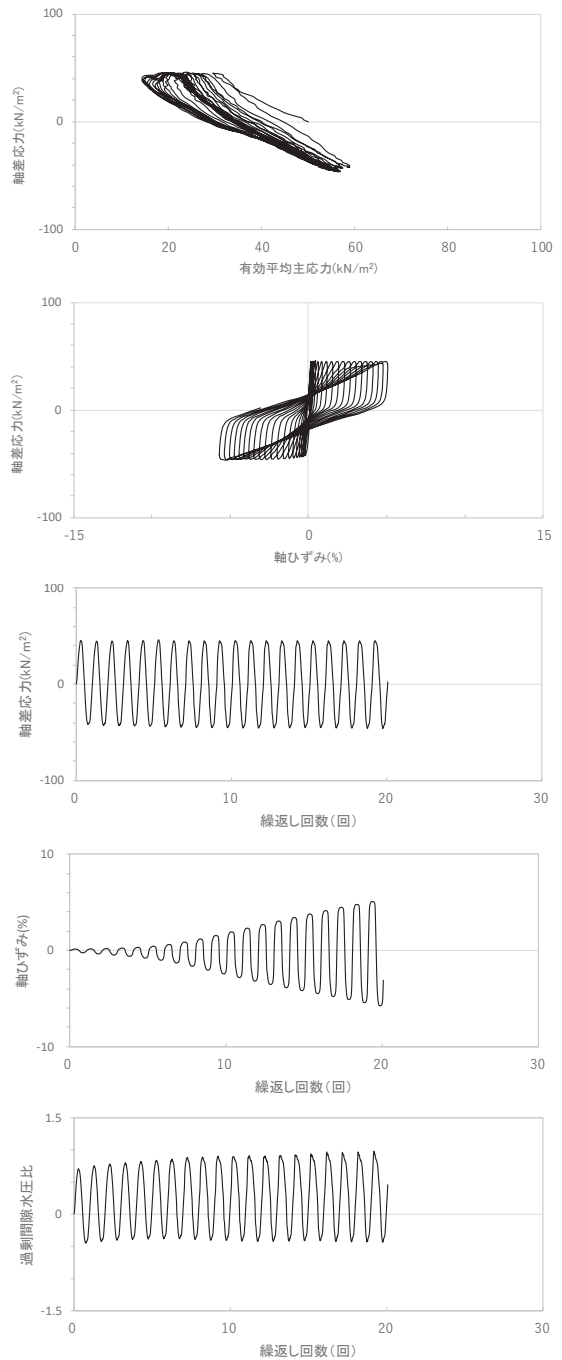
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-40 液状化強度試験結果
(B-6 試料 (供試体 No. 4))



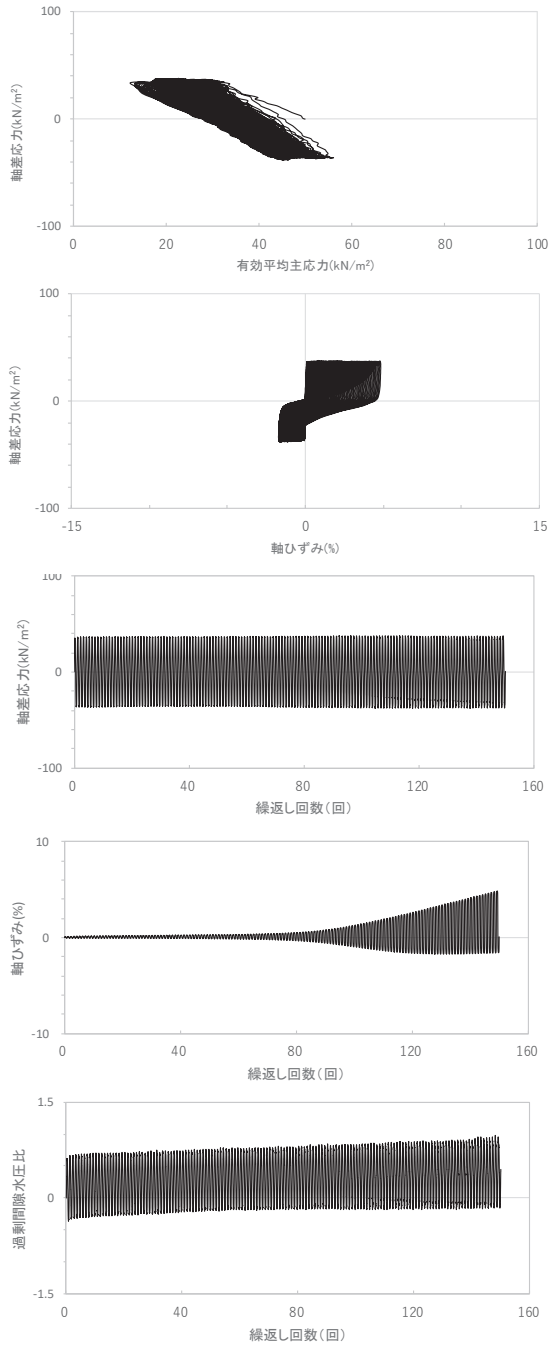
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する (95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する (ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する (有効応力回復)	○	

図 2.1-41 液状化強度試験結果
(B-7 試料 (供試体 No. 1))



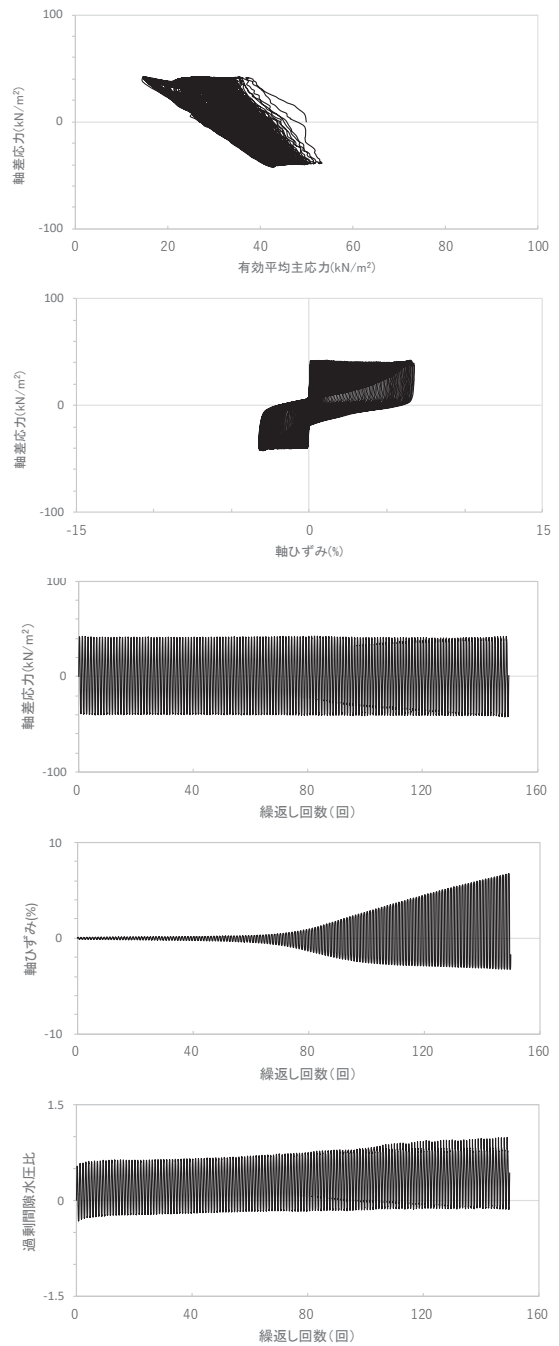
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する (95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する (ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する (有効応力回復)	○	

図 2.1-42 液状化強度試験結果
(B-7 試料 (供試体 No. 2))



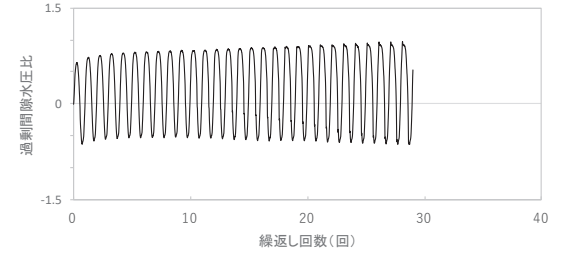
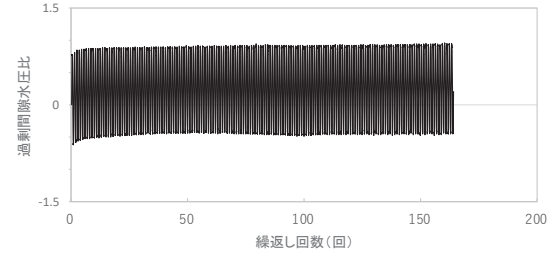
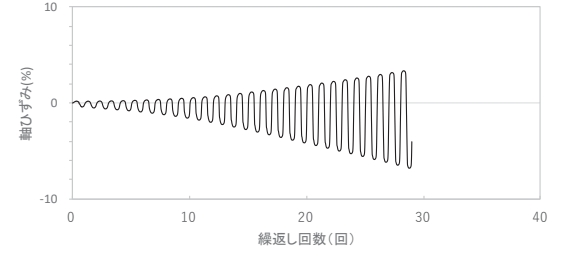
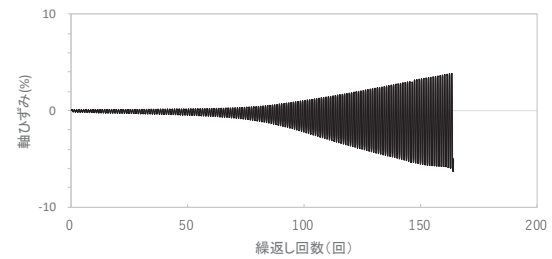
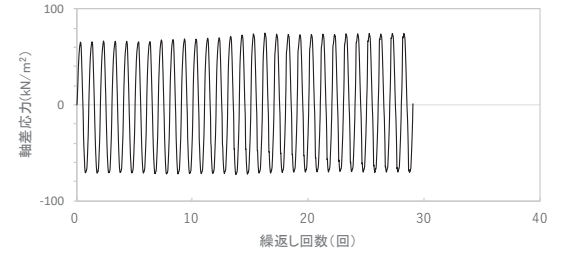
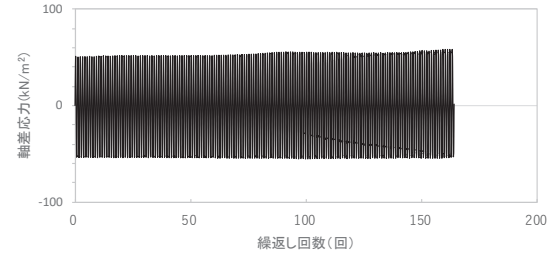
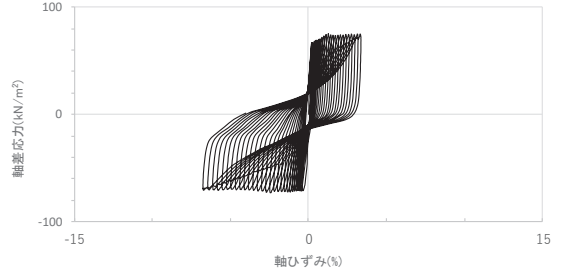
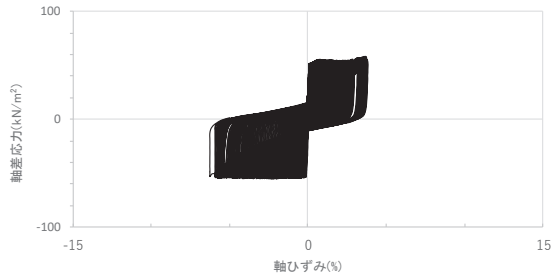
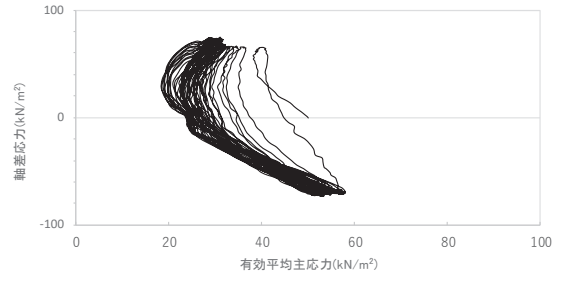
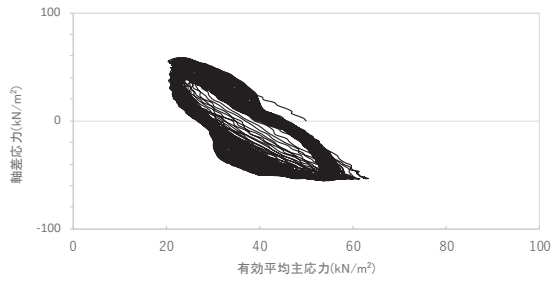
試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-43 液状化強度試験結果
(B-7 試料 (供試体 No. 3))



試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

図 2.1-44 液状化強度試験結果
(B-7 試料 (供試体 No. 4))

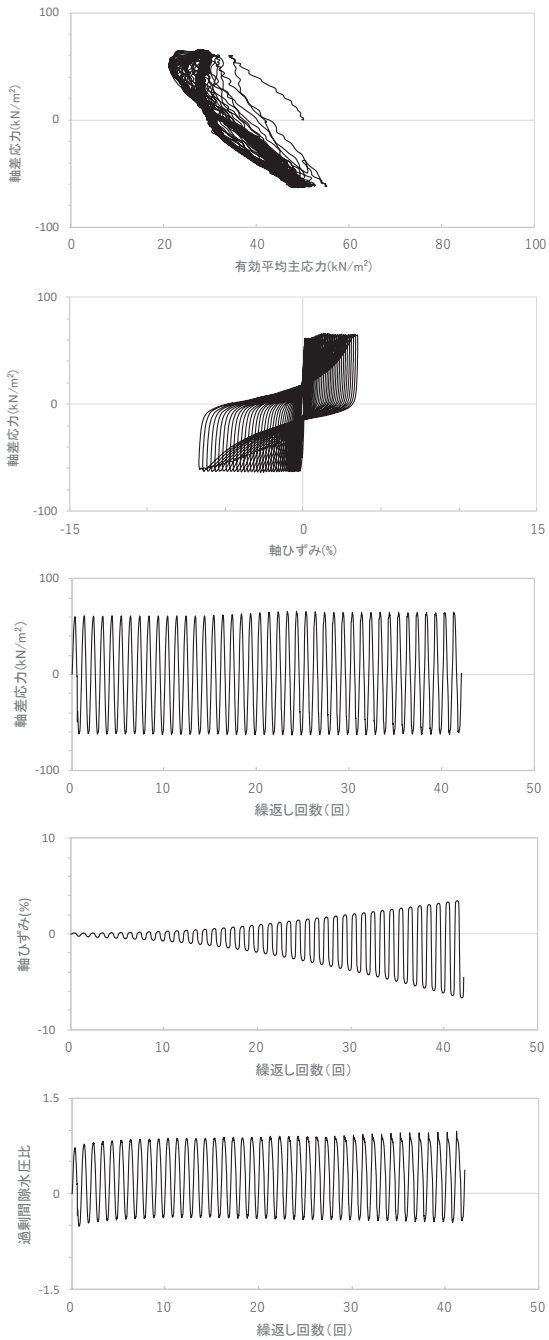


試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する(95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

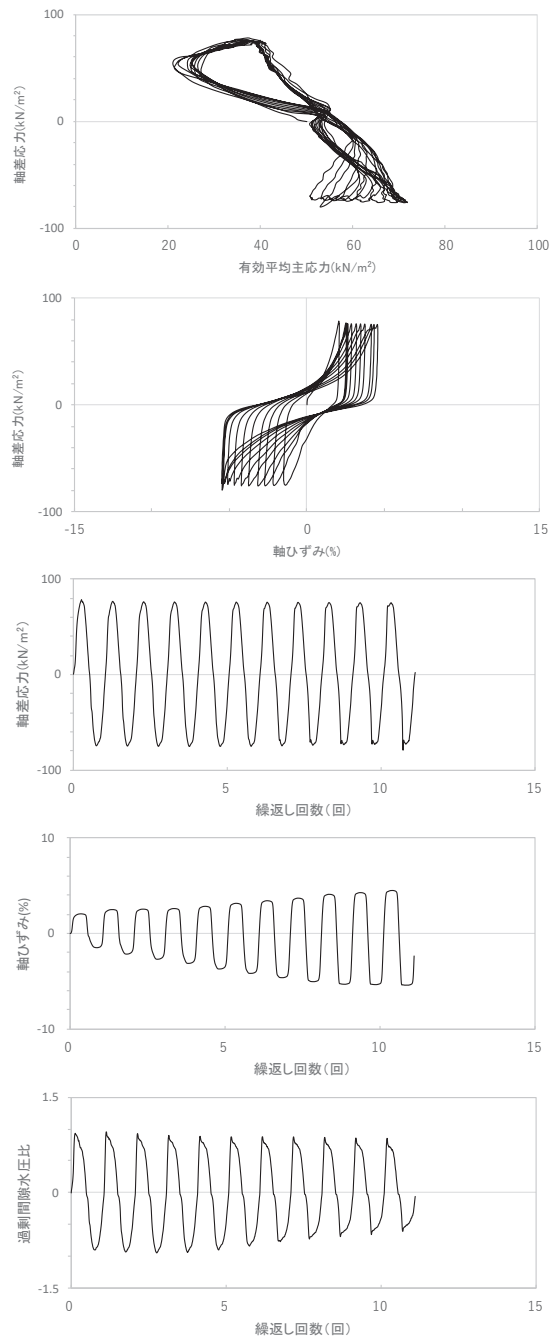
図 2.1-45 液状化強度試験結果
(B-8 試料 (供試体 No. 1))

図 2.1-46 液状化強度試験結果
(B-8 試料 (供試体 No. 2))



試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する (95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する (ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する (有効応力回復)	○	

図 2.1-47 液状化強度試験結果
(B-8 試料 (供試体 No. 3))



試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する (95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	×	
液体状となり流動する (ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する (有効応力回復)	○	

図 2.1-48 液状化強度試験結果
(B-8 試料 (供試体 No. 4))

2.2 旧表土の液状化強度試験結果

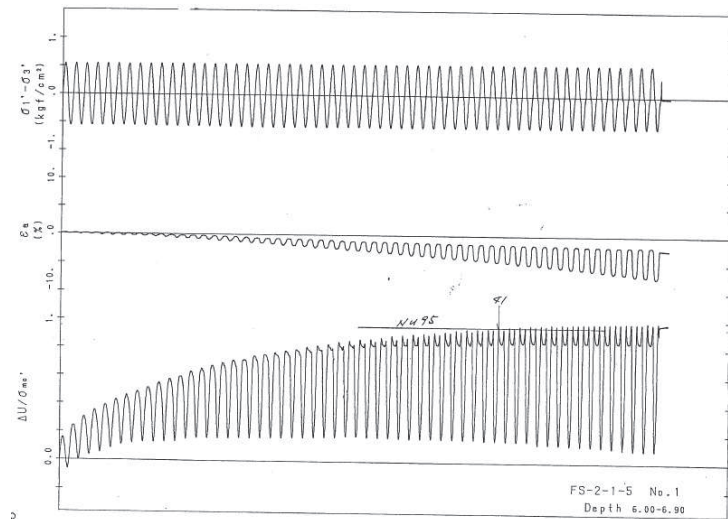


図 2.2-1 液状化強度試験結果 (A-1-1 試料 (供試体 No. 1))

試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する (95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	—	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

*間隙水圧比が 95%に達してもひずみの急増は見受けられないこと、間隙水圧比がゼロ付近まで低下(有効応力が回復)していることから、繰返し軟化と判断した。

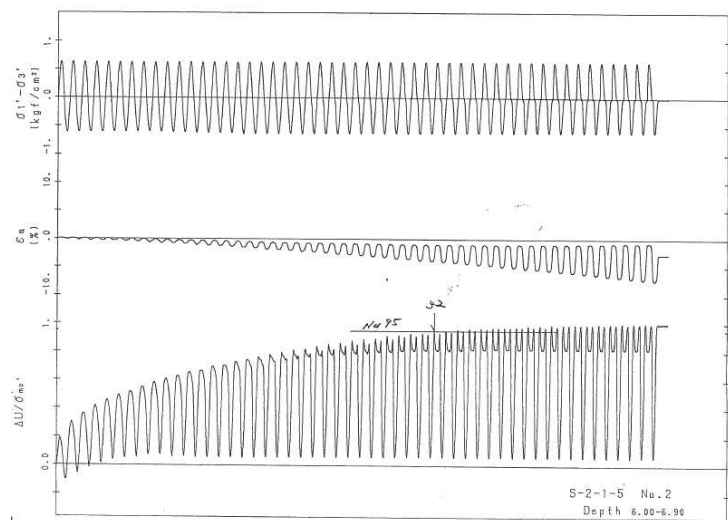


図 2.2-2 液状化強度試験結果 (A-1-1 試料 (供試体 No. 2))

試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する (95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	—	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

*間隙水圧比が 95%に達してもひずみの急増は見受けられないこと、間隙水圧比がゼロ付近まで低下(有効応力が回復)していることから、繰返し軟化と判断した。

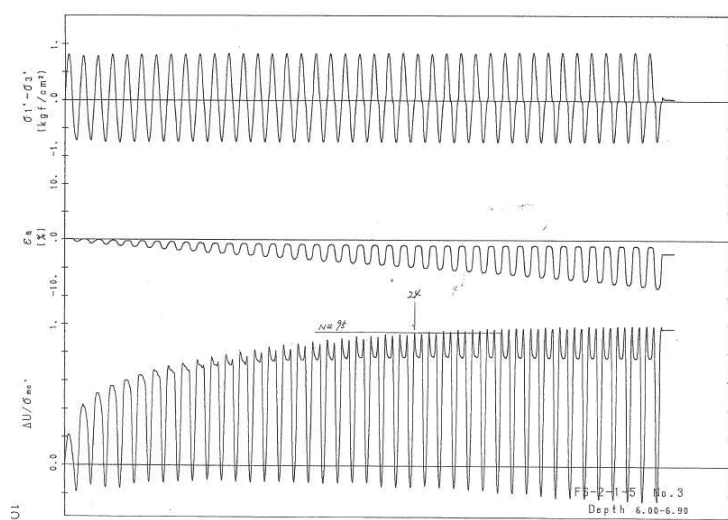


図 2.2-3 液状化強度試験結果 (A-1-1 試料 (供試体 No. 3))

試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する (95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	—	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

*間隙水圧比が 95%に達してもひずみの急増は見受けられないこと、間隙水圧比がマイナス(負圧)まで低下(有効応力が回復)していることから、繰返し軟化と判断した。

注) A-1 シリーズの試験は、実施時期が古く、デジタルデータは無い。また、試験結果整理方法が異なる。

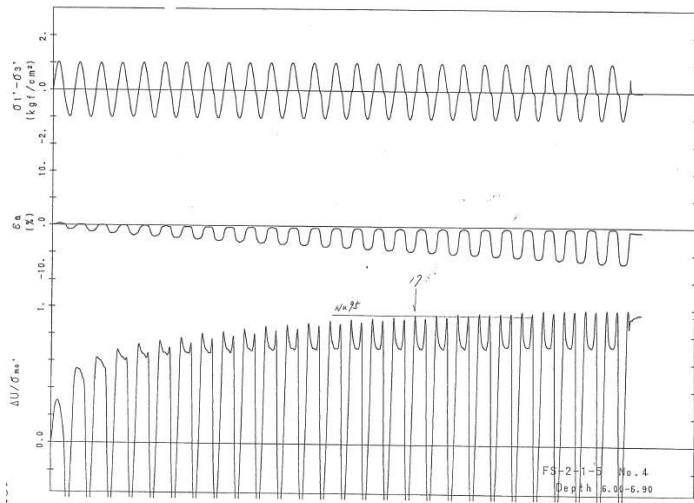


図 2.2-4 液状化強度試験結果 (A-1-1 試料 (供試体 No. 4))

試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する (95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	—	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

*間隙水圧比が 95%に達してもひずみの急増は見受けられないこと、間隙水圧比がマイナス(負圧)まで低下(有効応力が回復)していることから、繰返し軟化と判断した。

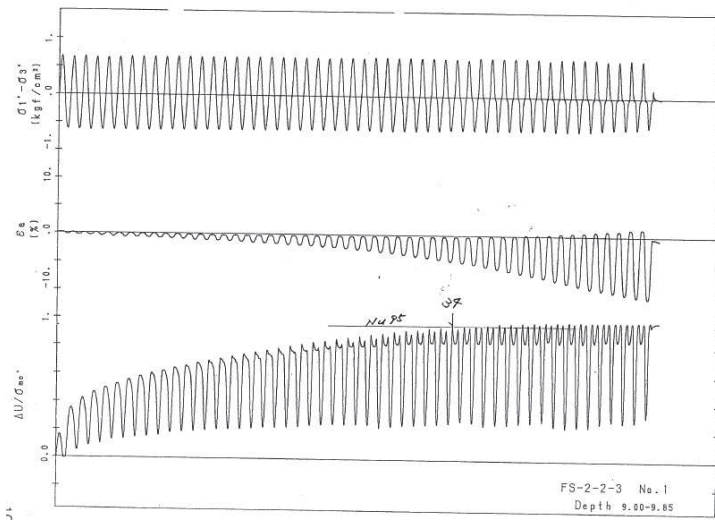


図 2.2-5 液状化強度試験結果 (A-1-2 試料 (供試体 No. 1))

試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する (95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	—	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

*間隙水圧比が 95%に達してもひずみの急増は見受けられないこと、間隙水圧比が低下(有効応力が回復)していることから、繰返し軟化と判断した。

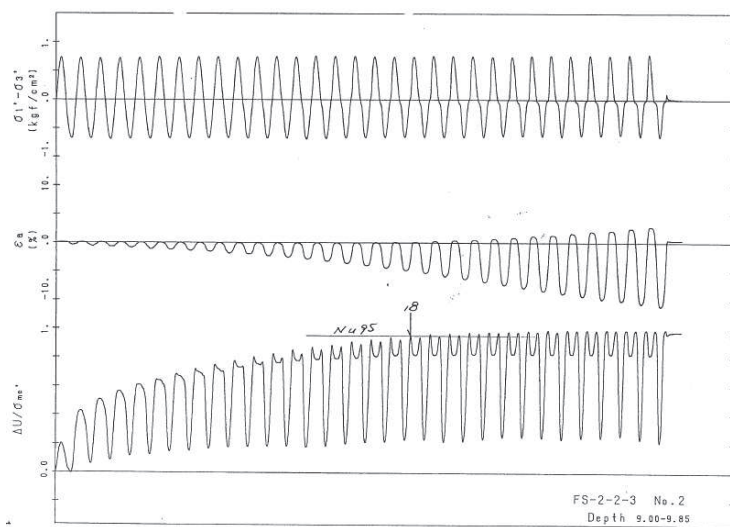


図 2.2-6 液状化強度試験結果 (A-1-2 試料 (供試体 No. 2))

試験結果		液状化の判断
間隙水圧が上昇・蓄積する (95%)	○	繰返し軟化
有効応力がゼロまで低下する	—	
液体状となり流動する(ひずみ急増)	×	
ダイレイタンスー特性によりせん断抵抗が作用する(有効応力回復)	○	

*間隙水圧比が 95%に達してもひずみの急増は見受けられないこと、間隙水圧比が低下(有効応力が回復)していることから、繰返し軟化と判断した。

注) A-1 シリーズの試験は、実施時期が古く、デジタルデータは無い。また、試験結果整理方法が異なる。